

美濃加茂市

第6次総合計画

後期基本計画

令和7年度－令和11年度

## 目次

第1章 後期基本計画策定にあたって .....	1
1 計画の位置づけ .....	1
2 計画の構成と期間 .....	1
3 総合計画の役割 .....	2
第2章 基本構想 .....	3
第3章 後期基本計画策定の前提条件 .....	4
1 社会情勢、現況のニーズ .....	4
2 本市の人口 .....	6
3 前期基本計画 KPI の進捗状況 .....	7
4 アンケート調査(まちづくりについての意見) .....	10
第4章 基本計画 .....	20
1 策定の視点 .....	20
2 体系図 .....	21
3 政策(分野別基本計画) .....	23
政策1 健康増進 .....	24
政策2 子育て支援 .....	27
政策3 女性若者活躍 .....	30
政策4 多文化共生 .....	32
政策5 地域再生 .....	34
政策6 生涯学習・文化・スポーツ .....	36
政策7 学校教育 .....	39
政策8 市民福祉 .....	42
政策9 産業振興 .....	46
政策10 環境 .....	49
政策11 防災減災 .....	52
政策12 都市基盤 .....	54
行財政運営の方針 .....	58

# 第1章 後期基本計画策定にあたって

## 1 計画の位置づけ

美濃加茂市第6次総合計画(以下「第6次総合計画」)は、本市の自治体経営の最上位に位置づけられる計画であり、健康や子育て、教育、福祉、産業、都市計画など行政が携わる全分野が共通してめざす方向性を示すものです。

## 2 計画の構成と期間

平成23年の地方自治法の改正により、それまで規定されていた総合計画の策定および基本構想の議決の義務づけがなくなりました。しかし、本市は、これからも市民のみなさんとめざすべき未来のまちの姿を共有し、その実現に向けて一緒に歩いていくために、令和2年度から令和11年度までの10年間を対象とする「美濃加茂市第6次総合計画」を策定しました。

前期基本計画(令和2年度～令和6年度)では、6つの分野(健康増進、女性若者活躍、多文化共生、産業振興、地域再生、防災減災)を重要政策としました。前期基本計画の終了に伴い、令和7年度から令和11年度までの5年間を計画期間とする後期基本計画(以下「本計画」)を策定します。

第6次総合計画は、基本構想、基本計画、実施計画の3層構造により、長期的なビジョンと具体的な施策を体系的に示すものです。

### ①基本構想

基本構想は、本市がめざすべき将来像とこれからのまちづくりの基本的な方針を示すものです。

- 目標年次:令和11年度

### ②基本計画

基本計画は、基本構想で描いた将来像の実現に向けた各分野における政策、施策の方針を示すものです。

- 前期基本計画:令和2年度～令和6年度
- 後期基本計画:令和7年度～令和11年度

### ③実施計画

実施計画は、基本計画で示された施策の方針に基づいた具体的な事業を示すものです。計画期間は3年間とし、毎年度ローリング方式※<sup>1</sup>で見直すものです。

※<sup>1</sup>ローリング方式とは、社会情勢や財政状況の変化への対応、実施事業の進捗状況の確認を行い、事業の立案、見直しや計画の修正を定期的に行っていく手法です。

年度	令和	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
	西暦	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029
基本構想	→										
基本計画	前期基本計画(5年)					後期基本計画(5年)					
実施計画	実施計画(3年)(毎年度ローリング方式により見直し)										

## 3 総合計画の役割

### ○長期的なビジョンの提示

本市がめざすまちづくりの方向性を示し、市民のみなさんとともにまちづくりを進めるための考え方や方針を示します。

### ○実効性

第6次総合計画の実現のために、すべての職員がその責任と権限に応じて、創意工夫し、事業を実施します。各施策に成果指標を設定し、計画期間における目標の達成をめざします。

### ○個別計画との整合性

第6次総合計画には、各分野の中長期的な視点による取組まを記載しています。具体的な取組については、各項目に記載した関連する個別計画で確認することができます。

### ○効率的な経営資源の配分

第6次総合計画の実現のため、限りある経営資源(ヒト・モノ・カネ)を最大限効率的かつ効果的に活用できるようにします。

## 第2章 基本構想

第6次総合計画では、基本構想「ウォーカブルシティミノカモ～すべての健康のために歩き続けるまち～」を掲げ、健康な心、体、社会の実現をめざしています。

市民・団体・企業・市役所が一体となって「歩き続ける」ことを共通の目標として、「心の健康」「体の健康」「社会の健康」を整えていきます。美濃加茂市に住むこと、住み続けることで、健康で豊かな暮らしにつながるよう、みんなで一歩を踏み出すことを掲げています。



*Walkable City  
Mirakama*

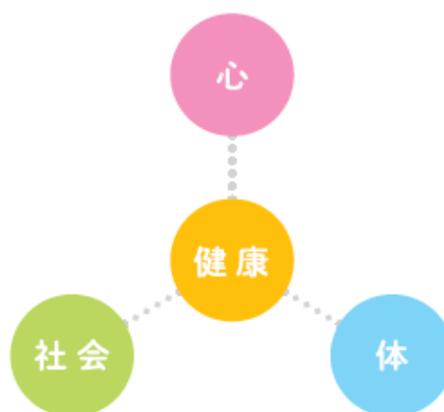
ウォーカブルシティミノカモ

### 美濃加茂市第6次総合計画

「総合計画」とは、これからのまちづくりを示す計画書です。美濃加茂市は2020年から2029年の10年間でどういうまちをめざすのかをあらわした「美濃加茂市第6次総合計画」をつくりました。

### 基本構想

第6次総合計画では、市民・団体・企業・市役所が一体となって「歩き続ける」ことを共通の目標として、「心の健康」「体の健康」「社会の健康」を整えていきます。美濃加茂市に住むこと、住み続けることで、健康で豊かな暮らしに繋がるよう、みんなで一歩を踏み出しましょう。



### ♥ 健康な心

- 思いやりの心
- 他者への関心
- 豊かな心
- チャレンジ精神

### ♋ 健康な体

- 全世代の健康増進
- 健康寿命の延伸
- 予防医療の推進
- 生涯元気

### 🏠 健康な社会

- 成長する産業
- 自然との調和
- 安心安全なまち
- 健全な行財政

## 第3章 後期基本計画策定の前提条件

本市を取り巻く社会経済情勢はさまざまな点で大きく変化しています。本計画の策定にあたっては、この5年間に於いて、まちづくりに対して特に影響が大きいと思われる以下の6つの社会情勢の変化を踏まえ、地域の特性にあわせた持続可能な発展をめざした政策を計画します。

### 1 社会情勢、現況とニーズ

#### ①少子高齢化

##### 【社会情勢】

日本の総人口は、国立社会保障・人口問題研究所の「日本の将来推計人口(令和5年推計)」によると、2070年には8,700万人に減少すると予測されています。また、65歳以上人口の割合は2070年には38.7%に増加すると予測されています。現在も日本全国で少子高齢化が進行しており、人口減少とともに労働力の減少や社会保障費の増加が社会の持続可能性に大きな影響を及ぼしています。特に地方では若年層の流出が顕著で、地域経済やコミュニティの維持が困難になっています。地方創生の取組が進められ、自治体間での広域連携も求められています。

##### 【本市における現況とニーズ】

令和2年国勢調査によると人口56,689人のうち、65歳以上の高齢者数は13,288人と増加傾向にあり、高齢化率は23.4%となっています。0～14歳の年少人口は8,590人で年少人口比率は15.2%で横ばい傾向ですが、今後低下すると予測されています。

また、若年人口(20～39歳)は12,106人と平成22年(15,140人)から10年間で20%の急減となっており、若年層の定住促進が急務です。就労機会の創出や移住促進策を展開するとともに、インフラの共有、産業振興策など、周辺自治体とも協力した地域全体での人口減少対応が求められます。

#### ②自然災害の増加

##### 【社会情勢】

南海トラフ地震をはじめとする大規模災害のリスクは全国的な課題であり、防災・減災に向けた準備が進められています。特に、地震や水害の被害を最小限に抑えるためには、広域的な防災協力が不可欠です。自治体間での情報共有や避難計画の統合、災害時の相互支援協定の締結などが進行中です。

##### 【本市における現況とニーズ】

南海トラフ地震(被害想定:最大震度6弱、全壊棟数362棟、死者数5人)などのリスクに備え、周辺自治体と連携した防災訓練の実施が必要です。水害や土砂災害に対する共同の対応策を強化、緊急時の避難所運営や物資供給の体制整備を進めるとともに、市民への防災意識向上のための啓発活動も継続的に行うことが求められます。

### ③グローバル化と外国人住民の増加

#### 【社会情勢】

グローバル化の進展とあわせ、政府が外国人材の受け入れ拡大を掲げるなか、日本全国で外国人労働者が増加しており、近年では外国人住民の滞在長期化、「永住」志向の高まりなどがみられます。「生活者としての外国人」に関する総合的な対応策として多文化共生社会の構築が急務となっており、言語支援や文化理解の促進、地域コミュニティとの連携強化が各地で進められています。

#### 【本市における現況とニーズ】

外国人市民比率は、10.4%(令和6年4月1日時点)とこの地域に生活基盤を築く外国人市民が多く、今後も政府の受け入れ拡大方針を受け、外国人市民のさらなる増加や多国籍化などが予想されます。外国人住民の増加に対応するため、生活相談窓口の充実などを通じて、外国人住民が地域社会に溶け込むための支援が行われています。今後は、地域全体での共生を促進することが求められます。

### ④DX(デジタルトランスフォーメーション)

#### 【社会情勢】

DX(デジタルトランスフォーメーション)は、全国的に行政サービスや産業分野で進行しており、デジタル技術を活用した効率化と利便性の向上をめざしています。特に、行政手続きのオンライン化や、地域産業のデジタル化が注目されています。

#### 【本市における現況とニーズ】

行政サービスを受けるために必要な市民の時間を節約できるように、DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進により業務の効率化や市民サービスの向上が図られています。今後も、オンライン手続きの拡充を進めるとともに、市民向けのデジタルリテラシー向上に取り組むことが必要です。

### ⑤公共施設の老朽化

#### 【社会情勢】

全国的に公共施設の老朽化が進んでおり、昭和期に建設された施設の維持管理が課題です。老朽化した施設の修繕や再配置には多大なコストがかかるため、計画的な施設の整備や施設の効率的な利用が求められています。

#### 【本市における現況とニーズ】

令和4年度末時点で築20年以上経過した公共施設は全体の81.4%を占めており、そのうち築30年以上を経過した施設は全体の65.2%を占める状況となっています。長期的な視点をもって公共施設の更新・統廃合・長寿命化などを計画的に行うとともに公共施設を効率的に運営することにより、財政負担の軽減・平準化および公共施設の最適化を図る必要があります。

## ⑥ライフスタイルの多様化

### 【社会情勢】

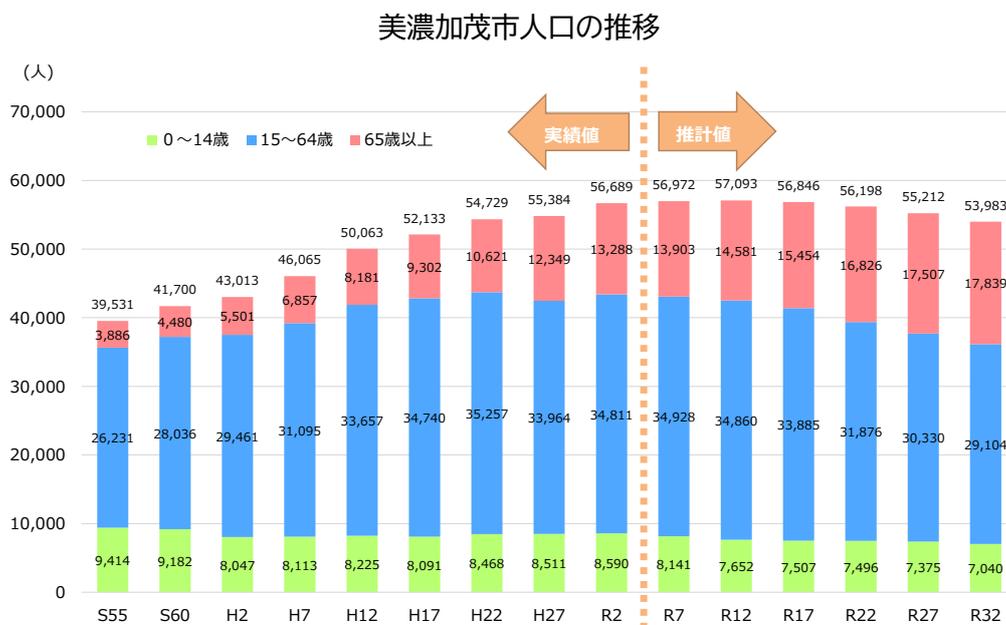
働き方や生活スタイルが多様化する現代では、企業や社会が個々のライフスタイルに対応する必要が求められており、テレワークの普及や地方移住への関心が高まっています。これに伴い、地方自治体では、住民のさまざまなライフスタイルにあわせた行政サービスの充実や移住者の受け入れ体制の整備、地域資源を活用した新たなビジネスの創出が進められています。

### 【本市における現況とニーズ】

核家族化や共働き世帯、高齢者のみ世帯の増加といった世帯構成や働き方の変化に対応すべく、高齢者世帯や子育て世帯への支援、柔軟な働き方への支援などの取組が行われています。特に、子育て支援においては、仕事と育児の両立支援などライフスタイルの変化にあわせた取組を拡充する必要があります。

## 2 本市の人口

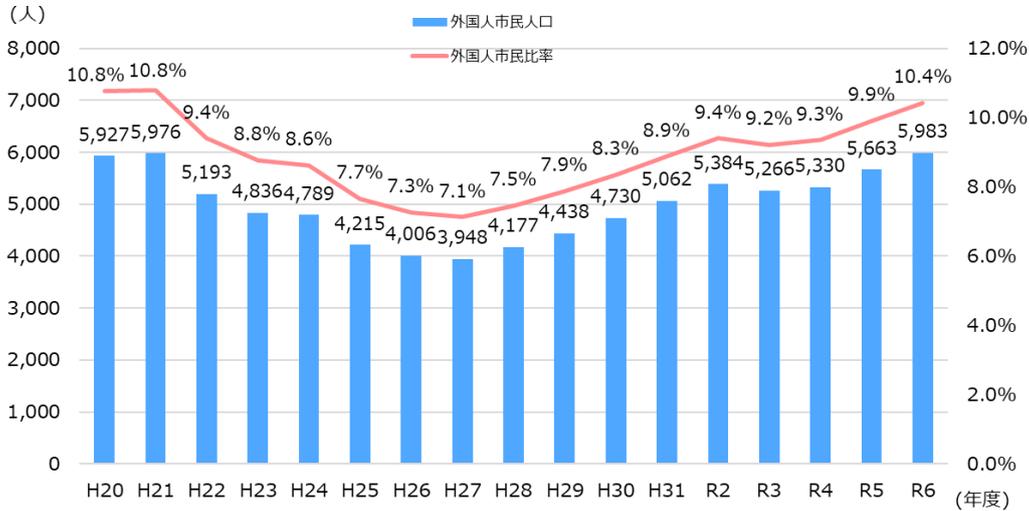
令和2年に56,689人(国勢調査)であった本市の人口は増加傾向にあり、多くの自治体がすでに人口減少局面を迎えるなか、国立社会保障・人口問題研究所の推計によると人口増加は令和12年まで続くことが見込まれます。年齢3区分別人口を見ると、年少人口(0～14歳人口)は緩やかな減少傾向にあり、生産年齢人口(15～64歳人口)は平成22年をピークに減少傾向となっています。一方で高齢者(65歳以上)人口は増加傾向となっており、今後は少子高齢化が一層進行することが見込まれます。



資料：令和2年までは総務省「国勢調査」、令和7年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」

外国人市民人口は、平成27年度に3,948人となり、新型コロナウイルス感染症の流行期に一時横ばいとなったものの増加傾向が続いており、令和6年度で5,983人と、外国人市民人口および外国人市民比率ともにピークだった平成21年度と同水準となっています。

外国人市民人口の推移と外国人市民比率



資料:美濃加茂市「行政地区別人口」

### 3 前期基本計画 KPI の進捗状況

#### (1) KPI※(定量的評価)

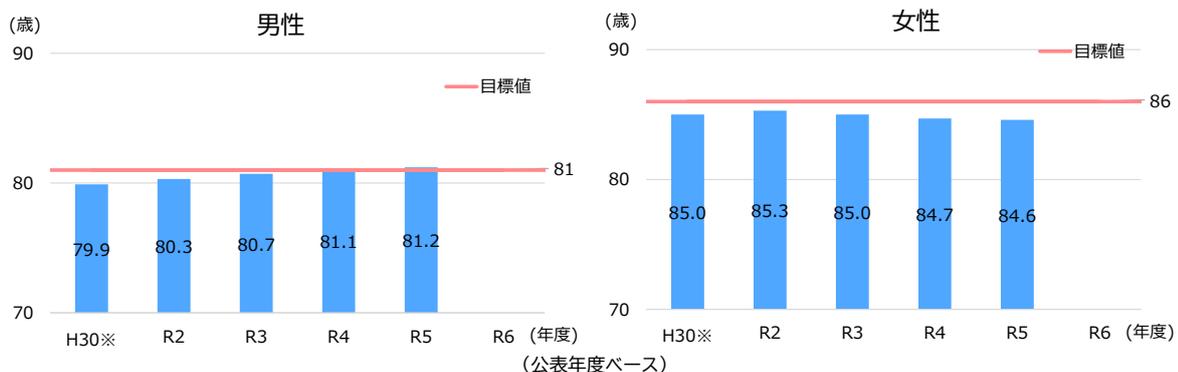
男性の健康寿命の延伸は令和4年度時点で目標値の81歳を達成しています。また、あい愛バスの利用者数も令和4年度時点で目標値の12万人を上回り、その後も増加傾向にあります。

1人あたりの市内総生産額は、令和2年度に目標値の4,100千円を達成したものの、翌年度以降はやや下回っています。また、外国人市民の高校進学率は令和3年度に目標値の97.6%を達成したものの、翌年度からは低下傾向となっています。

女性の健康寿命の延伸、生まれる赤ちゃんの人数、自主防災組織率は目標値を依然下回っています。

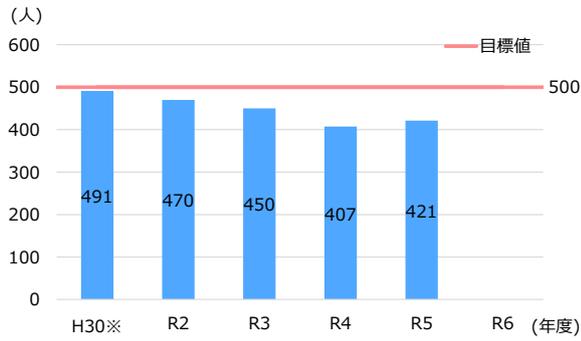
※KPI:成果を測定する指標

健康寿命の延伸(健康増進)



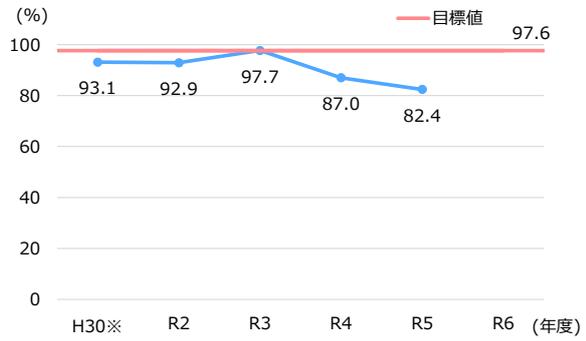
資料:国保データベース(KDB)システム

生まれる赤ちゃんの人数(女性若者活躍)



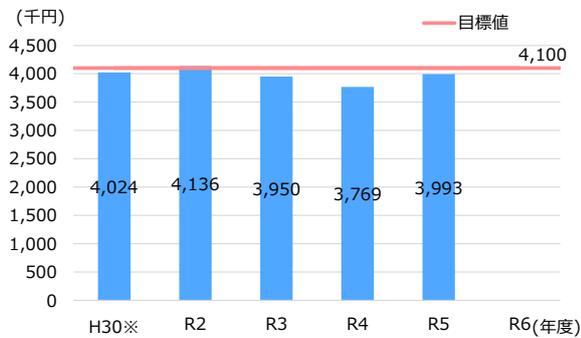
資料:美濃加茂市

外国人市民の高校進学率(多文化共生)



資料:美濃加茂市

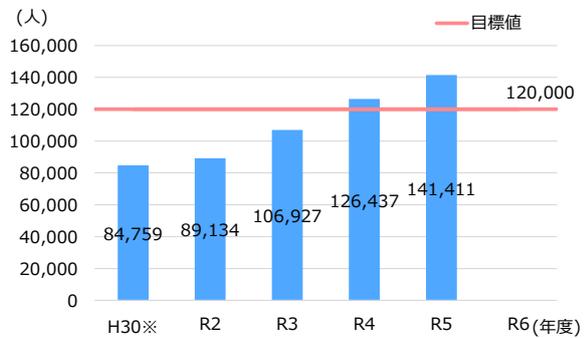
1人あたりの市内総生産額(産業振興)



(公表年度ベース)

資料:岐阜県「市町村民経済計算」

あい愛バスの利用者数(地域再生)



資料:美濃加茂市

自主防災組織率(防災減災)

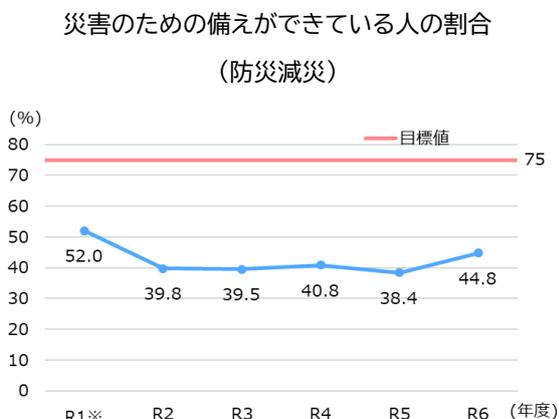
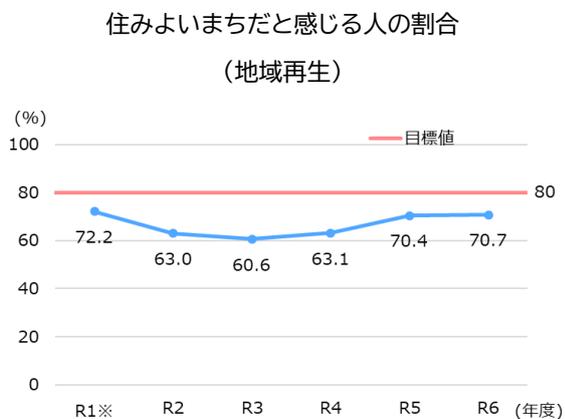
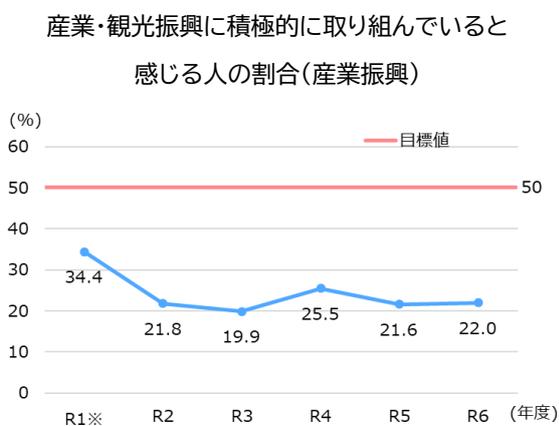
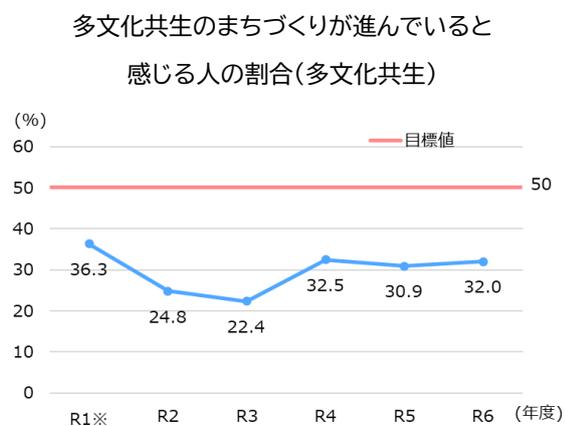
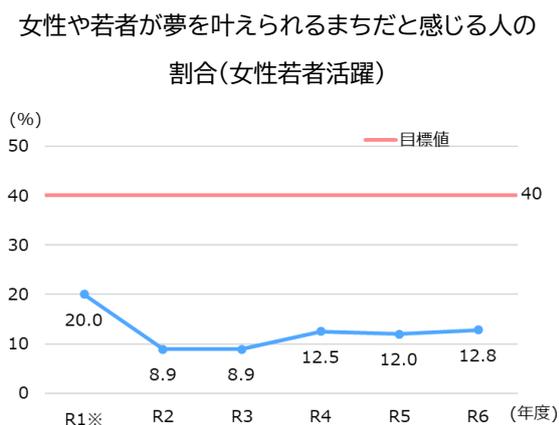
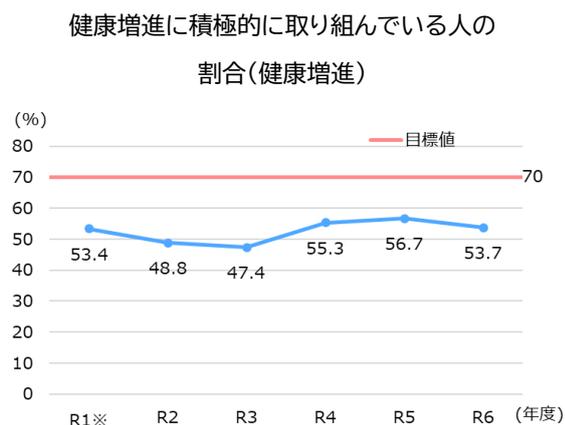


資料:美濃加茂市

※前期基本計画の現状値としています。

## (2) KPI(定性的評価)

いずれの指標も令和6年度時点で目標値を下回っていますが、新型コロナウイルス感染症の影響が大きかった令和2年度、令和3年度で低下した後、上昇傾向がみられます。令和2年度と比較した場合は、地域再生(+7.7%)、多文化共生(+7.2%)、防災減災(+5.0%)、健康増進(+4.9%)、女性若者活躍(+3.9%)、産業振興(+0.2%)の順になっています。令和6年度時点で令和元年度の数値を上回ったのは、健康増進に積極的に取り組んでいる人の割合のみで、それ以外の指標は、令和元年度を下回っています。



※前期基本計画の現状値としています。

資料:美濃加茂市「市民満足度調査」

## 4 アンケート調査(まちづくりについての意見)

本計画の策定にあたり、まちづくりに関して、下記のとおりアンケート調査を実施し、「美濃加茂市基礎調査報告書」として本市の現況と課題の分析をまとめました。ここでは、市民の意識や意見の主な傾向を掲載いたします。

アンケート名	調査対象	有効回収数	調査期間
未来のまちづくりアンケート	18歳以上の市民 1,500人	627通	令和6年2月19日 ～3月8日
未来のまちづくりアンケート(どなたでも)	どなたでも ※市外在住も可	1,176通	令和6年3月12日 ～3月27日
未来のまちづくりアンケート(中学生)	市内在住の中学 3年生587人	412通	令和6年1月15日 ～2月16日
若者の「生活とまちに対する意識」 アンケート(高校生)	市内在住の 高校生1,876人	181通	令和6年1月15日 ～1月31日
令和5年度美濃加茂市市民満足度調査	18歳以上の市民 1,500人	681通	令和5年12月8日 ～12月28日

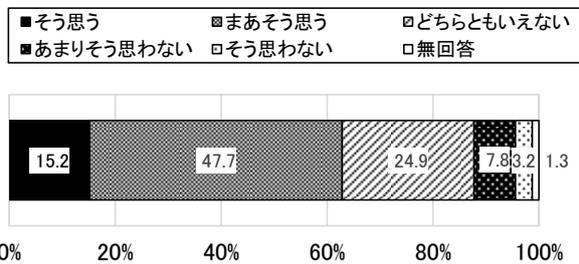
(1) 暮らしのなかでの意識

市民が生きがいをもって生活できている点、子どもたちがのびのびと育っている環境、心地よく歩ける空間の整備などが評価されています。

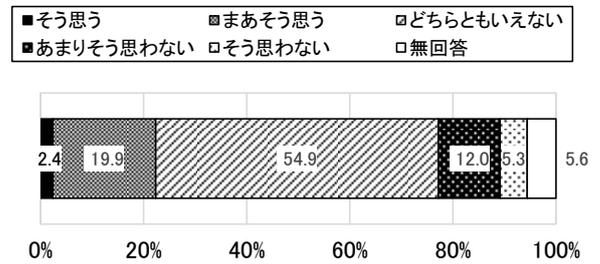
一方で、地域の企業による子育て支援の取組や、地域全体で子育てを支え合う雰囲気についての評価は低くなっています。加えて、自然環境の保護と生活の利便性に対する意識の二分、公共交通機関の利用の低迷、若者の夢や挑戦を後押しする環境の不足などの評価がみられます。

※「未来のまちづくりアンケート」より

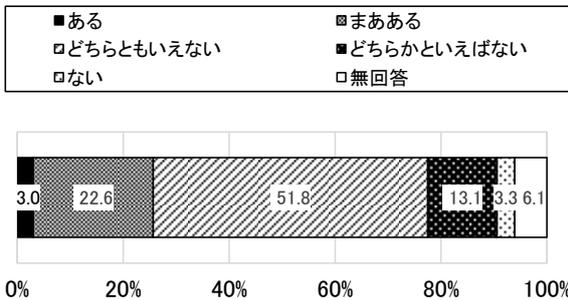
あなたは生きがいをもって生活できていますか



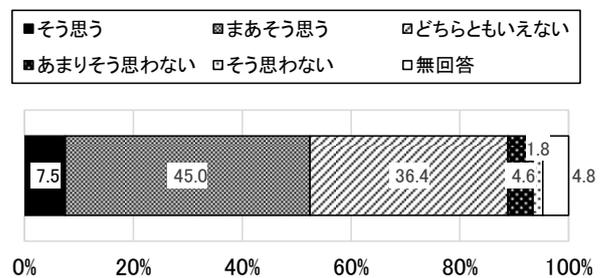
地域の企業は子育て支援に積極的だと思いますか



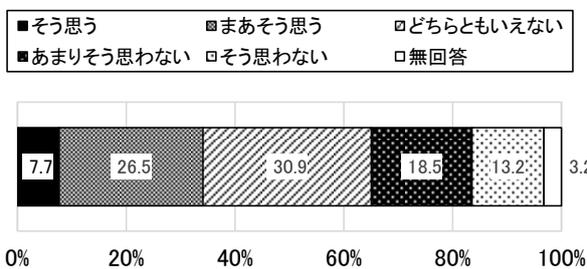
子育てについて地域で支え合う雰囲気があると感じますか



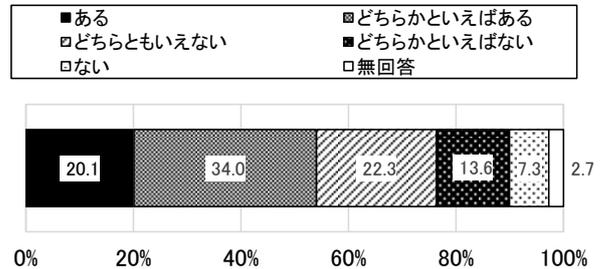
住んでいる地域の子どもたちはのびのびと育っていると思いますか



自然を守るためなら生活が少し不便でもいいですか

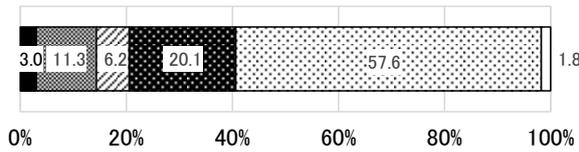


地域に心地よく歩きたくなるような空間はありますか



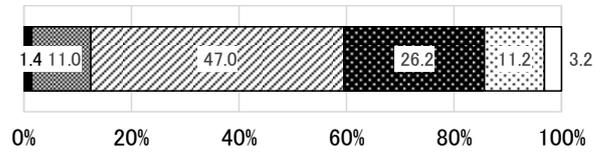
普段、できるだけ公共の交通機関を利用していますか

■よく利用する □まあまあ利用する □どちらともいえない  
■あまり利用しない □ほとんど利用しない □無回答



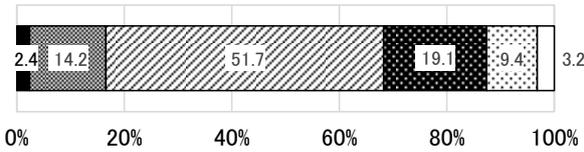
若者が夢や希望をもてるまちだと思えますか

■そう思う □まあそう思う □どちらともいえない  
■あまりそう思わない □そう思わない □無回答



チャレンジする人を進んで応援するまちだと思えますか

■そう思う □まあそう思う □どちらともいえない  
■あまりそう思わない □そう思わない □無回答



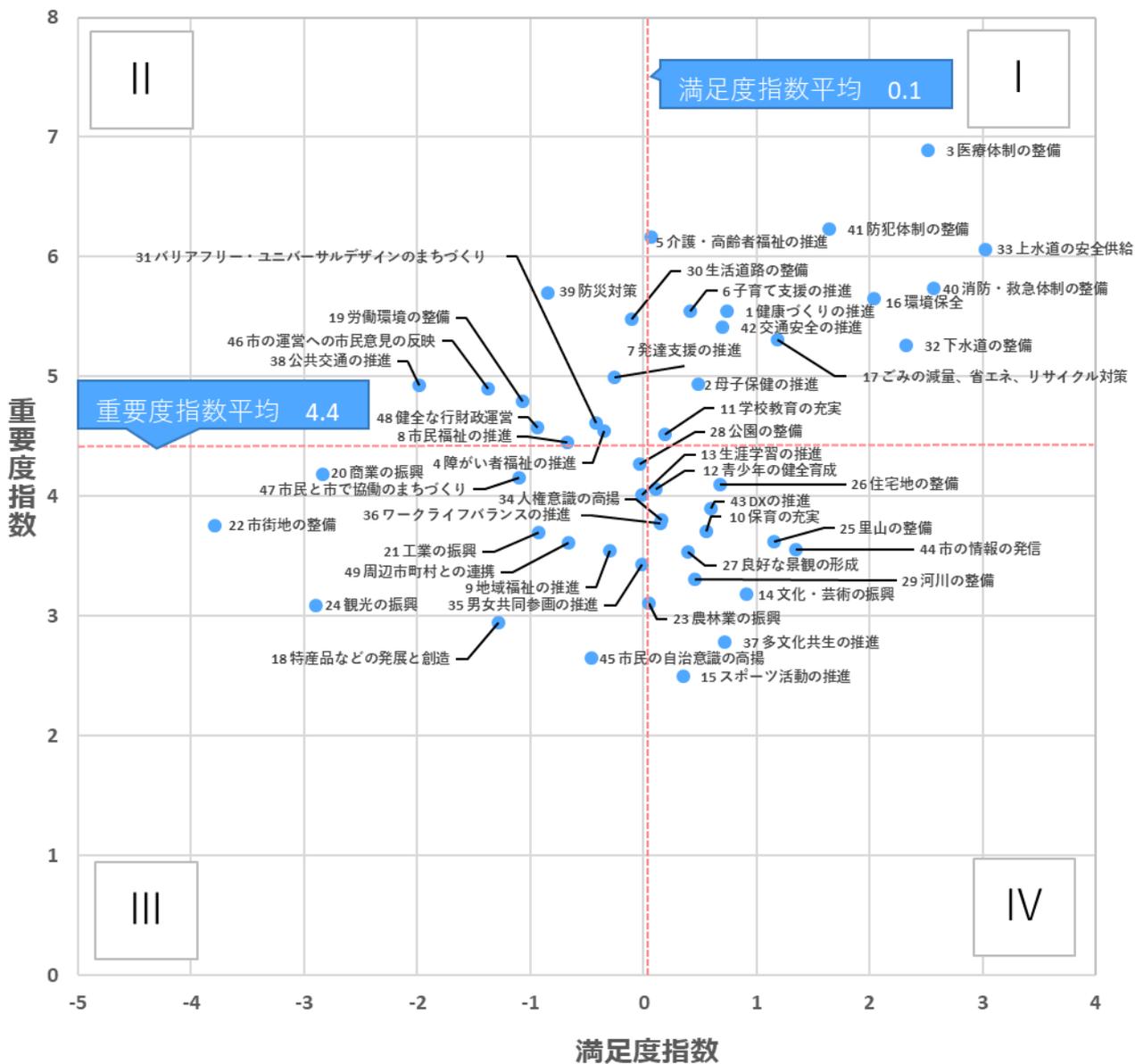
## (2) 施策に対する満足度と重要度

施策にかかる7分野・49項目の満足度・重要度について、それぞれの回答をもとに指数化<sup>※1</sup>しました。

※「未来のまちづくりアンケート」より

※1 5段階の評価にそれぞれ点数を与え、満足度指数および重要度指数を算出。この算出方法により、指数は-10点~10点の間に分布し、中間点の0点を境に、10点に近くなるほど評価は高いと考えられ、逆に-10点に近くなるほど評価が低いと考えられます。

$$\text{評価点} = \left[ \begin{array}{l} \text{「満足／重要である」の回答者数} \times 10 \text{点} \\ + \\ \text{「やや満足／やや重要」の回答者数} \times 5 \text{点} \\ + \\ \text{「普通／どちらともいえない」の回答者数} \times 0 \text{点} \\ + \\ \text{「やや不満／あまり重要でない」の回答者数} \times -5 \text{点} \\ + \\ \text{「不満／重要でない」の回答者数} \times -10 \text{点} \end{array} \right] \div \text{すべての回答者の合計数}$$



## 指数・重要度指数

満足度低・重要度高【Ⅱ】	満足度高・重要度高【Ⅰ】
4 障がい者福祉の推進 7 発達支援の推進 8 市民福祉の推進 19 労働環境の整備 30 生活道路の整備 31 バリアフリー・ユニバーサルデザインのまちづくり 38 公共交通の推進 39 防災対策 46 市の運営への市民意見の反映 48 健全な行財政運営	1 健康づくりの推進 2 母子保健の推進 3 医療体制の整備 5 介護・高齢者福祉の推進 6 子育て支援の推進 11 学校教育の充実 16 環境保全 17 ごみの減量、省エネ、リサイクル対策 32 下水道の整備 33 上水道の安全供給 40 消防・救急体制の整備 41 防犯体制の整備 42 交通安全の推進
満足度低・重要度低【Ⅲ】	満足度高・重要度低【Ⅳ】
9 地域福祉の推進 13 生涯学習の推進 18 特産品などの発展と創造 20 商業の振興 21 工業の振興 22 市街地の整備 24 観光の振興 28 公園の整備 35 男女共同参画の推進 45 市民の自治意識の高揚 47 市民と市で協働のまちづくり 49 周辺市町村との連携	10 保育の充実 12 青少年の健全育成 14 文化・芸術の振興 15 スポーツ活動の推進 23 農林業の振興 25 里山の整備 26 住宅地の整備 27 良好な景観の形成 29 河川の整備 34 人権意識の高揚 36 ワークライフバランスの推進 37 多文化共生の推進 43 DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進 44 市の情報の発信

満足度指数では「22市街地の整備」が-3.8と最も低く、次いで「24観光の振興」、「20商業の振興」が低い数値となっており、49項目中22項目が満足度指数の平均を下回っています。数値の高い項目は、「33上水道の安全供給」、「40消防・救急体制の整備」、「3医療体制の整備」となっています。

重要度指数では、「3医療体制の整備」、「41防犯体制の整備」、「5介護・高齢者福祉の推進」などが高い数値となっています。

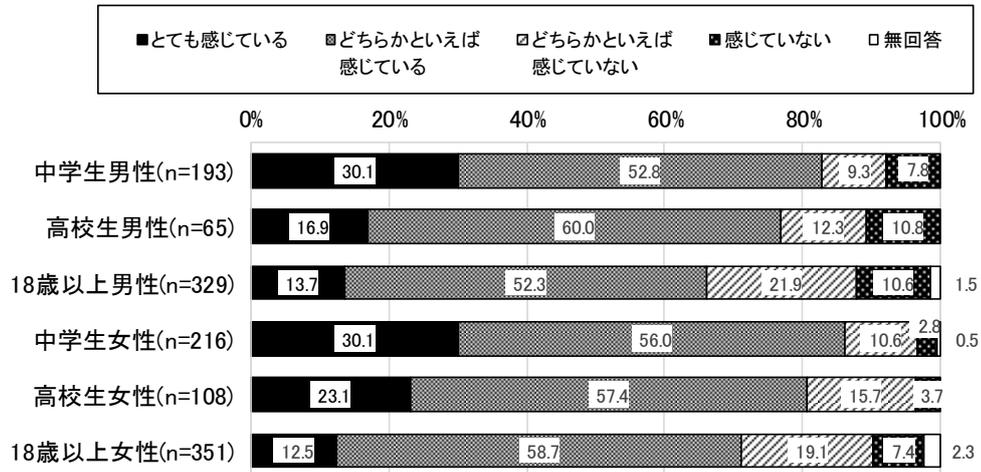
### (3) 本市への誇りと愛着

全体的に本市への誇りや愛着は強く、中高生でも8割程度がそうした気持ちをもっていることがわかります。中学生から40代にかけて「愛着を感じている」の回答割合は減少傾向ですが、50代以上では同割合は増加傾向となっています。

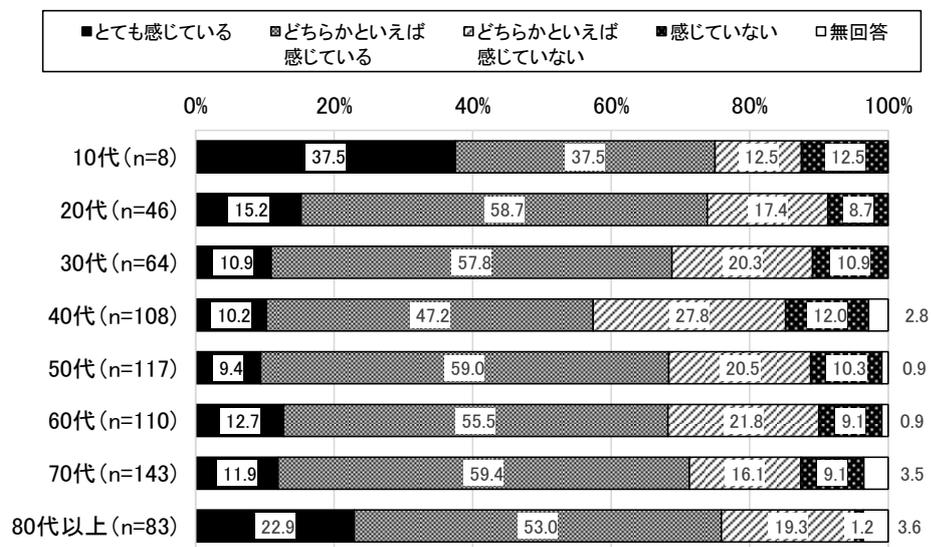
高校生アンケートでは、愛着を感じる理由として「自然環境」、「生活のしやすさ」、「地元への愛着」などが挙げられています。

※「未来のまちづくりアンケート(中学生)」「若者の「生活とまちに対する意識(高校生)」アンケート」  
「令和5年度美濃加茂市市民満足度調査」より

あなたは、美濃加茂市に誇りや愛着を感じていますか



あなたは、美濃加茂市に誇りや愛着を感じていますか



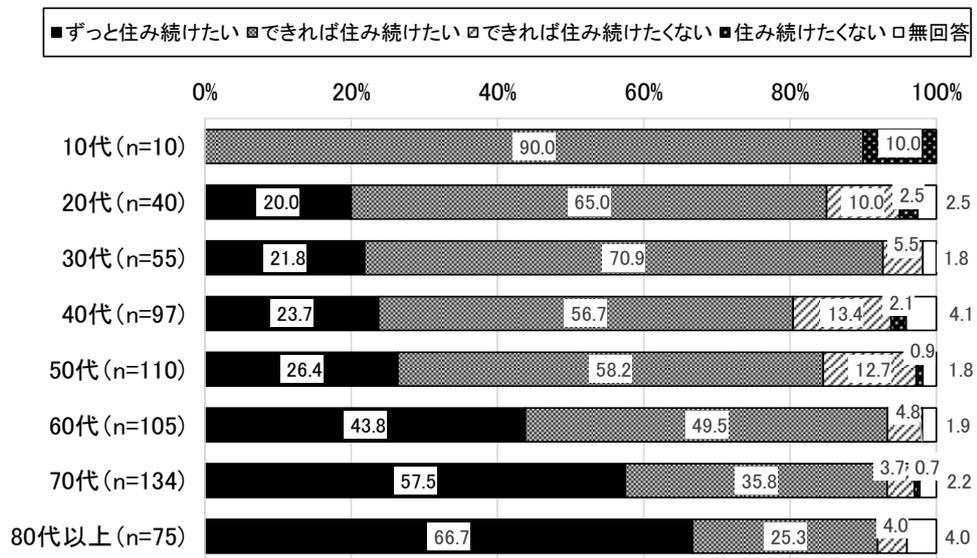
(4) 定住意向

18歳以上の市民では全年代を通じて、本市に対する定住意向は8割程度と比較的高いことがうかがえます。年代が上がるにつれて「ずっと住みたい」が増加傾向にあり、特に中高年層での増加は顕著です。

中高生については定住意向が二分される傾向となっています。中学生は41.7%、高校生は49.7%が住みたいと考えている一方で、中学生の36.9%、高校生の22.1%が「就職で離れてもいつかは戻りたい」と回答しており、一旦は市外に出たとしても本市に戻る意向を示しています。

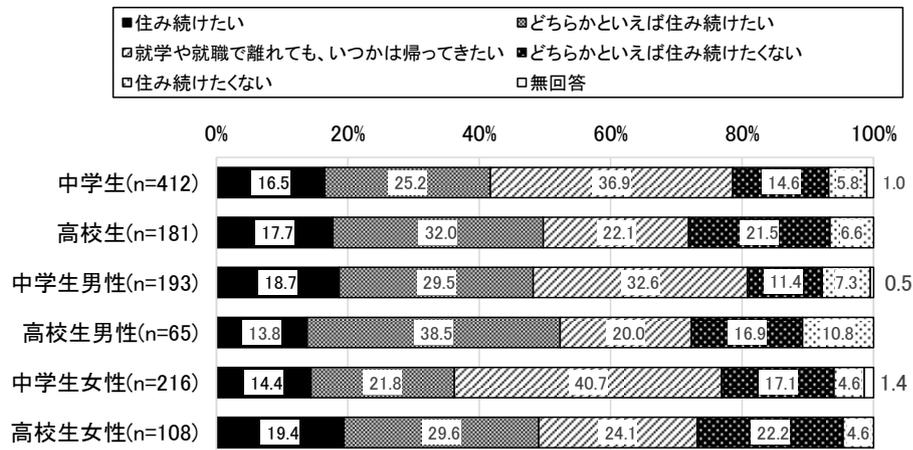
※「未来のまちづくりアンケート」より

あなたは、これからも美濃加茂市に住み続けたいと思いますか



※「未来のまちづくりアンケート(中学生)」「若者の「生活とまちに対する意識(高校生)」アンケート」より

あなたは、今後も美濃加茂市に住み続けたいと思いますか



(5) 本市の印象と魅力

本市の印象や魅力として、「自然環境の豊かさ」、「災害リスクの低さ」、「買い物や飲食のしやすさ」が上位に挙げられています。

※「未来のまちづくりアンケート(どなたでも)」より

あなたが感じる美濃加茂市の印象や魅力は何ですか

単位: %

	全体	性別			年代別							
		男性	女性	その他	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上
回答数(n)	1,172	514	647	7	44	84	165	177	235	240	195	28
災害が少ない	49.2	52.0	47.1	42.9	38.6	31.0	37.6	42.4	48.9	54.8	<b>63.6</b>	<b>85.7</b>
自然に恵まれている	43.9	40.8	45.8	<b>85.7</b>	50.0	36.9	47.3	46.9	35.7	49.0	43.9	46.4
買い物、飲食がしやすい	30.2	26.7	33.0	28.6	27.3	<b>38.1</b>	29.1	27.7	31.5	28.2	31.3	32.1
交通の便が良い	25.9	30.8	22.2	14.3	13.6	27.4	24.8	31.1	25.1	24.9	24.2	<b>39.3</b>
治安がよい	22.2	21.7	22.8	0.0	20.5	16.7	13.3	20.3	22.6	24.5	30.3	25.0
水や空気、食べ物が美味しい	12.1	11.0	12.8	<b>28.6</b>	20.5	7.1	7.3	7.9	12.3	12.9	18.2	14.3
まちなみや風景が美しい	12.0	13.5	10.8	14.3	<b>25.0</b>	11.9	13.3	9.6	11.1	13.7	10.1	3.6
祭りやイベントが豊富で楽しめる	7.3	6.0	8.0	<b>42.9</b>	<b>36.4</b>	<b>19.0</b>	9.1	7.3	5.1	3.3	2.5	0.0
子育てしやすい	6.6	3.9	8.6	14.3	0.0	<b>21.4</b>	13.9	9.0	5.1	2.5	1.0	0.0
自分の趣味がしやすい	5.6	8.1	3.5	14.3	6.8	1.2	3.6	2.8	5.5	7.5	9.6	3.6
多文化共生が進んでいる	5.5	3.9	6.8	0.0	11.4	9.5	10.9	6.2	4.3	3.7	1.5	0.0
仕事・勉強がしやすい	2.9	3.3	2.6	0.0	6.8	4.8	1.2	2.8	3.8	2.1	2.0	7.1
保育・教育環境が良い	2.0	2.7	1.4	0.0	2.3	1.2	1.8	1.1	1.7	2.5	3.0	0.0
その他	4.6	6.2	3.4	0.0	2.3	4.8	6.1	3.4	5.5	4.1	5.1	3.6
無回答	1.1	1.4	0.9	0.0	0.0	1.2	1.2	2.8	0.9	0.4	1.0	0.0

※  1位  2位  3位 **太字** … 全体+10ポイント超

## (6) 本市に求められていること

まちづくりへの希望は、「生活インフラ(住宅、道路、公共交通)の整備」、「医療・福祉の充実」、「防災・防犯体制の強化」といった生活環境の改善を求める声が多数を占めています。10代は「買い物や飲食のしやすさ」を、20代・30代は「安心して子育てできるまち」を望んでいます。

特に10代・20代の自由意見からは「遊び場の増設」、「バス本数の増加」など、娯楽施設や交通利便性の向上を望む意見が多くみられました。

※「未来のまちづくりアンケート(どなたでも)」

どのようなまち(美濃加茂市)であれば、住みたい、住み続けたいと思いますか(3つまで)

単位:%

	全体	性別			年代別							
		男性	女性	その他	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上
回答数(n)	1,172	514	647	7	44	84	165	177	235	240	195	28
住宅や道路、公共交通が整備された 便利で快適なまち	45.7	45.1	46.1	57.1	36.4	33.3	40.6	45.8	49.8	49.0	48.5	53.6
医療や福祉の充実したまち	44.6	40.6	47.8	42.9	18.2	32.1	24.2	39.5	48.9	56.4	56.6	53.6
防災・防犯・交通安全などの体制が整った 安心して暮らせるまち	41.0	40.2	41.8	14.3	31.8	31.0	36.4	37.3	41.3	47.7	43.9	57.1
買い物や飲食できる場所がたくさんあるまち	29.9	28.8	30.9	28.6	38.6	41.7	30.9	26.6	35.7	27.4	21.7	32.1
子どもからお年寄りまで、 みんなが健康に暮らしているまち	24.3	23.4	25.0	28.6	18.2	21.4	21.2	19.8	25.5	29.0	25.3	28.6
安心して子育てができるまち	19.2	15.7	22.2	0.0	4.5	50.0	52.1	28.8	8.5	6.2	4.0	3.6
農業や自然環境を大切に守り育てるまち	17.0	17.4	16.7	14.3	25.0	8.3	15.2	15.8	13.2	15.4	26.8	21.4
美しい風景や景色が誇れるまち	15.8	18.4	13.7	14.3	27.3	15.5	13.9	13.6	12.3	17.8	19.2	7.1
働くところがたくさんあるまち	10.3	10.4	9.9	42.9	9.1	9.5	13.9	13.0	14.0	6.6	6.1	7.1
教育環境が充実したまち	8.0	7.7	8.3	0.0	13.6	9.5	14.5	12.4	7.2	3.3	4.0	0.0
スポーツや文化活動が活発なまち	6.8	8.7	5.2	14.3	27.3	10.7	3.6	5.6	6.4	5.8	5.6	10.7
様々な行政サービスが インターネットから利用できるまち	5.7	6.2	5.1	28.6	4.5	11.9	6.1	7.3	6.8	3.7	3.0	3.6
多文化共生(異なる文化を持つ人々が 互いに仲良く暮らす)を推進するまち	3.8	4.6	3.1	0.0	4.5	6.0	0.6	5.6	2.1	5.0	5.1	0.0
たくさんの観光客が訪れるまち	2.5	3.3	1.9	0.0	9.1	6.0	0.6	2.3	2.6	2.1	2.0	0.0
その他	2.8	4.3	1.7	0.0	0.0	2.4	3.0	4.5	3.8	1.7	2.5	0.0

※  1位  2位  3位 **太字** … 全体+10ポイント超

## (7) まとめ

世代や居住意向によってまちづくりへのニーズは異なるものの、総じて生活利便性の向上を望む声が上位を占めました。加えて、若年層は、買い物や飲食を楽しめる魅力的なまちづくりや自然環境の保全、働く場所の充実やデジタル技術の活用推進なども重視し、子育て世代は、安心して子育てできる環境を望んでいます。

市民は美濃加茂市の魅力を評価しつつも、特に若年層を中心に生活環境のさらなる充実を求める傾向が見て取れます。全体の施策をバランスよく推進し、本市への愛着と定住意向を維持していくことが大切です。

また、満足度指数は7分野49項目中22項目で満足度指数の平均を下回っており(19項目はマイナス)、十分な水準には達していません。市民満足度の向上には全分野における施策の推進が必要です。

## 第4章 基本計画

### 1 策定の視点

前期基本計画の KPI 評価結果は、一部の目標を達成したものの、多くの満足度指標が目標値に届かないこととなりました。本計画では、前期基本計画の課題を引き継ぎつつ、さらに深く掘り下げて取り組む必要があります。

特に前期基本計画で目標が未達成の要因を精査し、エビデンスに基づく政策形成(EBPM: Evidence-Based Policy Making)によって、施策・事業の効果を最大化しつつ、細やかな対応を行います。これにより、本計画では目標達成への道筋を明確にし、計画の実効性を高めます。

そこで、本計画では、これまでの6つの分野に加え、新たに7つの分野を追加し12分野の政策と行政分野の方針に拡充しました。この拡充の主な目的は、複雑化する現代社会の変化や課題に対して、より包括的で横断的、かつ効果的な行政運営を実現することにあります。

前述のとおり、満足度指数の平均は低い水準でありました。今回の拡充を通じて、多様化する市民ニーズにより適切に対応し、行政サービスの質を全体的に向上させることで、全体の市民満足度の向上をめざします。

多くの市町村がすでに人口減少局面を迎え、社会情勢は急速に変化しています。国の推計では、本市の人口は増加傾向にありますが、令和12年をピークに減少していく予測となっています。この人口動態の転換期に対応した施策が必要です。本市においても、少子高齢化や自然災害の増加、グローバル化と外国人住民の増加、DX(デジタルトランスフォーメーション)推進、公共施設の老朽化、ライフスタイルの多様化といったさまざまな課題に対応していく必要があります。

社会情勢の変化	求められる対応
少子高齢化	人口構造の変化に伴う課題への対応
自然災害の増加	リスクを軽減する自然災害への備え
グローバル化と外国人住民の増加	外国人市民との共生社会の構築
DX(デジタルトランスフォーメーション)	行政サービスのデジタル化推進
公共施設の老朽化	長期的視点での施設管理計画の必要性
ライフスタイルの多様化	変化する市民ニーズへの対応

また、例えば、少子高齢化への対応は、人口問題だけでなく、産業振興、地域コミュニティの活性化、健康福祉など多くの分野と密接に関連しています。多文化共生の推進は、教育、就労支援、地域防災な

どさまざまな側面から取り組む必要があります。今回の拡充によって、これらの課題の相互関連性を認識しながら、より効果的かつ効率的な施策展開が可能となります。

また、各分野が連携し、総合的なアプローチをすることで、限られた資源を最大限に活用し、多様化する市民ニーズに応える行政サービスの提供をめざします。

## 2 体系図

基本構想	基本計画		
	政策(まちづくり宣言)		施策
ウォーカブルシティ ミノカモ ～すべての健康のために 歩き続けるまち～	健康増進	生涯健康で、元気に生きる！	健康
			医療
	子育て支援	安心して子どもを産み、育てることができる！	子育て支援
			児童発達支援
			保育
	女性若者活躍	女性や若者が輝き、スポットライトが当たるまち！	女性活躍
			若者活躍
	多文化共生	みんなで一歩を踏み出そう！	多文化共生
	地域再生	地域の魅力をアップデート！	市民活動
			移住・定住
			公共交通
	生涯学習・文化・スポーツ	生涯学習、文化、スポーツを生かして未来を担うひとを育む！	生涯学習
			文化
			スポーツ
学校教育	自分が思い描く幸せな未来を創造していく子どもを育む！	児童生徒育成	
		教育環境	
市民福祉	みんなが支え合い、ともに歩む福祉のまちづくり！	地域福祉・児童福祉	
		障がい福祉	
		高齢者福祉・介護	
		国民健康保険・後期高齢者医療保険	
		住民情報・戸籍	

	産業振興	活力と“豊かさ”あふれるまち！	商工・消費生活相談
			観光
			農業
			里山
	環境	豊かな自然と快適な生活環境を未来へつなぐ！	環境保全
			生活環境
	防災減災	もしものとき、生き残るために！	防災・減災
			消防・防犯・交通安全
	都市基盤	未来を見据えた暮らしやすい街をつくる！	都市計画・都市整備
			道路・公園・河川
			上下水道
	行財政運営の方針		行財政
			人財育成
			施設経営
広報・広聴			
広域行政			
自治体 DX			

### 3 政策(分野別基本計画)

#### 政策(分野別基本計画)の見方

---

---

政策(分野別基本計画)は、前項の体系に基づき、計12分野について、計画期間においてめざす姿、施策、注力する取組、KPI(重要業績評価指標)などを記載しています。なお、行財政運営は、すべての政策を進める基礎となる共通項目であるため、運営方針として記載しています。

■政策 ⇒ 目的や効果などによって分野ごとに整理した、基礎自治体としての本市が担う、まちづくりの方針です。

□まちづくり宣言～政策のめざす姿～ ⇒ 政策においてめざす、将来(5年後)のまちの姿です。

■施策 ⇒ 政策のめざす姿を実現するための策を具体的に示したものです。

□めざす姿 ⇒ 施策においてめざす、将来(5年後)のまちの姿です。

□注力する取組 ⇒ 計画期間(5年間)に行う具体的な取組を記載しています。

□KPI(重要業績評価指標) ⇒ 施策の成果を測定する指標と目標値を設定しています。

■解決を図る現在の状況 ⇒ 計画期間に解決を図ることをめざす現在の状況です。

■主なデータ ⇒ 解決を図る現在の状況などに関連する主な統計資料を掲示しています。

■個別計画 ⇒ 政策に関連する個別計画を記載しています。

※本計画では、政策等を上記のとおり定義し、計画を構成しています。

## 政策1 健康増進

まちづくり宣言～政策のめざす姿～

生涯健康で、元気に生きる！

～心と体の健康を図り、「生涯元気なまち」をめざします～

### 施策1-1 健康

#### めざす姿

- 一人ひとりが健康の重要性を自覚し、適切な食生活や運動、日ごろの健康管理によって生活習慣の改善に取り組んでいます。
- 企業や医療機関、学校、地域などと連携し、それぞれがもつ機能を有効に活用し、地域が協力して市民が健康づくりに取り組める環境が整っています。
- 若年世代が健康への意識を高め、健康増進に積極的に取り組んでいます。
- 生涯の健康について継続的に考えた、生活習慣や生育環境などを考慮した健康づくりが大切であり、すべてのライフステージにおいて健康増進を図る取組が展開されています。
- 自殺対策を地域全体の取組とし、企業、医療機関、地域、消防・警察・保健所などと連携し、悩みをもつ人に適切な支援が届いています。

#### 注力する取組

- 「みのかも健康10か条※」を行動目標として、「体の健康」「心の健康」「社会の健康」の健康づくりを推進します。
- 将来を通じた健康意識に影響するライフコースアプローチ(胎児期から始まる生涯を通じて健康を考える方法)に基づき、若年世代の健康への関心が高まり、早期に健康づくりに取り組めるように、若年世代への食育や子どもが生まれる前から親と子の関わりについて学ぶ機会を設けます。
- 生活習慣病の発症予防など健康維持のため、早期発見を目的とした各種健診、対象者を絞ったより高い効果を得られる保健指導、健康教育のさらなる充実を図ります。
- 早期治療や定期予防接種を適切なタイミングで勧奨することによる重症化予防などを推進します。
- 産前教室や産後ケアの拡充により、親と子の良好な家庭養育環境をサポートします。
- 身近な人の変化に気づき、適切な支援につなぎ、見守ることができるゲートキーパーを養成し、相談先につながった人には専門職が適切な支援を行います。

※みのかも健康10か条:第6次総合計画の基本構想で掲げる「心の健康」「体の健康」「社会の健康」を視点とした行動目標。

#### □KPI(重要業績評価指標)

指標	現状(令和5年度)	目標(令和11年度)
健康寿命※の延伸 ※健康寿命:要介護度1以下を自立(健康)とした「日常生活動作が自立している期間の平均」	男性81.2歳 女性84.6歳	男性82歳 女性86歳
みのかも健康10か条の認知度	—	50%
健康増進に積極的に取り組んでいる人の割合	56.7%	70%
過去1年間に歯科健診を受診した人の割合	29.3%	40%
乳幼児健診において養育環境の支援が必要と把握した割合	4.6%	4%
自殺死亡率※ ※自殺死亡率:人口10万人あたりの自殺者数	12.23	12.3以下

※健康寿命は公表年度をもとに記載しています。

## 施策1-2 医療

### めざす姿

○いつでも必要なときに医療を受けることができる環境が整っています。

### 注力する取組

○地域医療を維持するため、医療人材が確保できるよう資格取得を支援します。

○休日に救急告示病院に患者が集中することがないように、休日急患診療、休日急患歯科診療の実施体制を維持します。

### □KPI(重要業績評価指標)

指標	現状(令和5年度)	目標(令和11年度)
休日急患診療、休日急患歯科診療利用者数	3,085人	3,700人

### 解決を図る現在の状況

○健康増進に積極的に取り組んでいる人の割合は、令和6年度では53.7%となっています。

○自分の健康に関心がある人の割合は令和4年度では20代が42.3%、30代が56.2%、40代が46.4%となっており、若年層と現役世代は、健康づくり活動や予防への意識が不十分です。

○三大死因の標準化死亡比(平成29年～令和3年)は、男女ともに、悪性新生物(がん)では男性が92.2、女性が88.9、心疾患では男性が88.2、女性が84.3と、いずれも国・県を下回っています。一方、脳血管疾患では男性が103.3、女性が118.4と、国・県を上回っています。

○がん検診、特定健診、歯科健診の受診率が低迷しており、生活習慣病予防が十分に浸透していない状態です。

○乳児健診の受診率はおおむね100%と高い状況が維持できていますが、精神発達面や親子関係(愛着形成の不足等)が懸念されるケースがみられます。

○自殺者数、自殺死亡率は平成29年に減少した後、横ばいで推移していましたが、令和4年には増加し、全国の自殺死亡率より高い値になっています。

○救急件数は令和元年には2,436件であったが、令和5年は2,765件となっており、救急医療需要の増加に伴い、医療人材不足と救急医療のひっ迫が深刻化することが懸念されます。

## 主なデータ

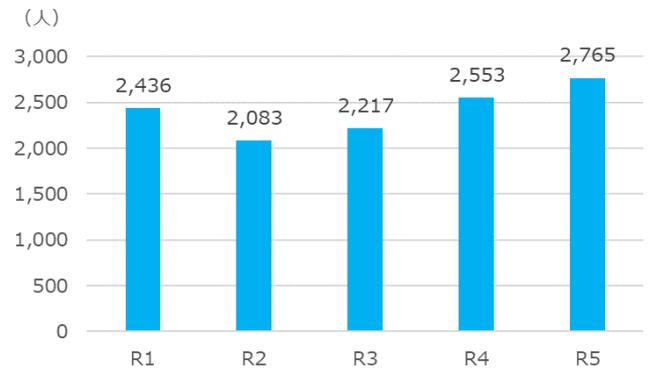
標準化死亡比※(H29～R3年)

	男性		女性	
	岐阜県	美濃加茂市	岐阜県	美濃加茂市
悪性新生物	96.8	92.2	100.7	88.9
心疾患	98.3	88.2	102.4	84.3
脳血管疾患	96.0	103.3	107.6	118.4

※標準化死亡比：人口構成の違いを除去して死亡率を比較するための指標。全国を100とし、100以上の場合死亡率が高く、100以下の場合死亡率が低いといえます。

資料：岐阜県の生活習慣病白書2023(統計編)

救急件数の推移



資料：可茂消防事務組合「可茂消防管内過去の救急件数表」

## 個別計画

- 美濃加茂市健康増進計画
- 美濃加茂市いのち支える自殺対策計画

## 政策2 子育て支援

まちづくり宣言～政策のめざす姿～

安心してこどもを産み、育てることができる！

～家族と一緒に過ごす時間を大切にできるまちをめざします～

### 施策2-1 子育て支援

#### めざす姿

- 子育て世帯を支援する地域づくりをとおして、安心して子育てできる環境が整っています。
- こども家庭センターによる切れ目のない支援体制を構築しています。
- 児童虐待防止の理解を深め、関連情報の共有を促進し、親子間の適切な関係形成に向けた支援体制が拡充されています。

#### 注力する取組

- 子育て支援センターの充実により、地域における子育て支援環境を整備します。
- 子育ての不安を抱え込んで孤立してしまうことがないよう、親子の絆づくりや乳幼児の親子支援を充実します。
- 児童虐待の防止やヤングケアラー防止の啓発により、子育てに困難を抱える家庭を支援し、こどもの権利を守ります。

#### □KPI(重要業績評価指標)

指標	現状(令和5年度)	目標(令和11年度)
子育て支援センター市内利用登録者数(累計)	829人	1,340人
乳幼児親子支援事業参加保護者数(実人数)	355人	475人
児童虐待対応件数(新規)	28件	20件

### 施策2-2 児童発達支援

#### めざす姿

- 児童発達支援センターの充実を図ることで、早期発見から早期支援につながる一貫した支援体制を構築し、多様な療育のニーズに対応できるきめ細かな支援を提供しています。

#### 注力する取組

- 乳幼児健診等において支援対象者を早期に把握し、切れ目のない支援を実施することで、適切な就学支援につなげていきます。
- 言語教室通級判定児を少なくするため、早期発音改善の支援をします。
- 専門的な技術を習得し、幅広い相談や実践に対応できる職員を育成します。

#### □KPI(重要業績評価指標)

指標	現状(令和5年度)	目標(令和11年度)
新就学児の言語教室通級判定児数	49人	25人
新就学児の特別支援対象判定児数	84人	60人

## 施策2-3 保育

### めざす姿

- 公立園と私立園との交流や連携を推進し、里山保育など公立園の特色を生かした保育を展開しています。
- 保育士の確保と資質向上に努め、多様化する保育ニーズに柔軟に対応しています。
- 保育環境の整備により、希望するすべての世帯が放課後児童クラブを利用することができます。

### 注力する取組

- 市内全域を保育のフィールドとして捉え、里山保育をはじめとする「あそび中心」、「こども中心」の特色ある保育を推進します。
- 公立、私立および認可外保育施設において、外国人児童がスムーズに小学校に通うためのプレスクール※を実施します。

※プレスクール:スムーズな就学につなげるために、就学前の外国人児童を対象に日本語や学校生活のルール、生活習慣などを指導すること。

- 希望するすべての児童を放課後児童クラブで受け入れ、保護者の育児と仕事の両立をサポートします。

### □KPI(重要業績評価指標)

指標	現状(令和5年度)	目標(令和11年度)
里山保育(保育内容)の満足度	78%	85%
外国人児童のプレスクール事業参加率	44%	65%
待機児童者数(保育園等)	0人	0人
待機児童者数(放課後児童クラブ)	0人	0人

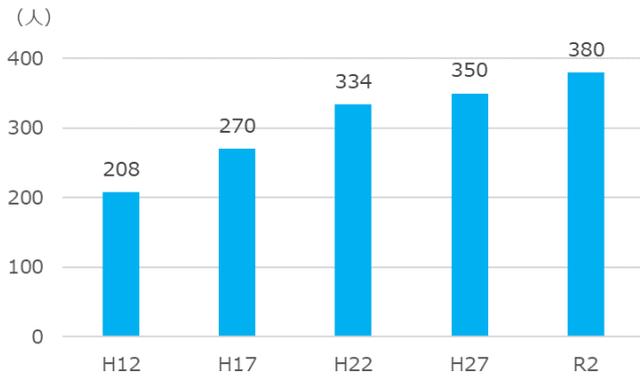
## 解決を図る現在の状況

- 令和2年のひとり親世帯は、380世帯と増加傾向にあり、自助、共助のみではサポートが十分でない世帯が増加しています。
- 児童虐待、ヤングケアラー、外国人世帯の支援など、課題は多岐にわたり、家庭児童相談(新規相談)対応件数は令和元年度には30件でしたが、令和5年度には146件となっており、家庭での子育て力向上やメンタルケアを必要とする保護者が増加しています。
- 一般発達相談件数は令和元年度の502件に対し令和5年度は581件、児童発達支援や放課後等デイサービスの利用計画相談児数は令和元年度の163人から令和5年度は197人となっており、発達支援の必要なこどもが増加し、相談などの即時対応が難しくなっています。
- 家族形態や働き方の多様化、外国人市民の増加により、さまざまな保育ニーズに対応することが難しくなっています。
- 3歳未満の低年齢児保育の需要は拡大しており、0～2歳人口に占める3号認定(満3歳未満で保育の必要な事由に該当)の割合は、令和2年の29.5%から令和6年には33.9%に上昇し、保育士の人員確保や資質向上の機会が求められています。
- こども一人ひとりの発達過程や個性は異なるため、こどもを主体とした保育を展開することが必要になっています。
- 18歳未満の外国人児童人口は、令和6年4月1日現在で1,277人となっており、日本語、日本の生活習慣、学校生活のルールなどについての理解が進まず、就学時に勉強や学校生活に困り感をもつ外国人児童が増加傾向に

あります。

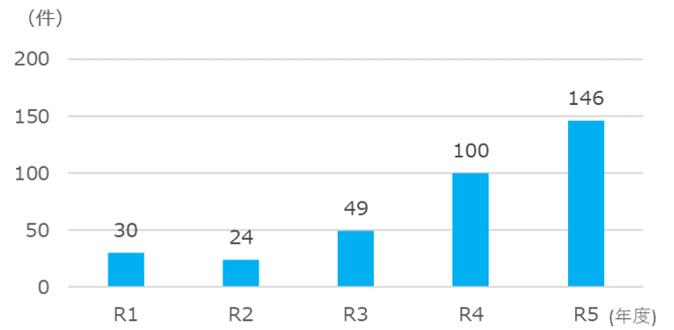
## 主なデータ

ひとり親世帯の推移



資料:総務省「国勢調査」

家庭児童相談(新規相談対応件数)の推移



資料:美濃加茂市

## 個別計画

○美濃加茂市子ども・子育て支援事業計画

## 政策3 女性若者活躍

まちづくり宣言～政策のめざす姿～

女性や若者が輝き、スポットライトが当たるまち！

～女性や若者が輝き、自分らしく生きられるまちをめざします～

### 施策3-1 女性活躍

#### めざす姿

- 多様なライフステージにおいて笑顔でいられる環境を整え、女性が主体的に活躍し、夢を実現できるまちになっています。
- 「女性だから」「男性だから」という考えにとらわれず、一人ひとりの個性を尊重し、いきいきと生きられる男女共同参画社会を実現しています。

#### 注力する取組

- 「働きたい」という気持ちを尊重し、柔軟な働き方の推進やキャリアアップの教育(学習)機会を確保します。
- 職業の種類や役職、活躍する分野を決め付けることなく、能力を発揮でき、個人として評価されるための啓発活動や教育を充実させます。

#### □KPI(重要業績評価指標)

指標	現状(令和5年度)	目標(令和11年度)
岐阜県ワーク・ライフ・バランス推進企業市内登録企業数(累計)	60件	120件
みのかも女性活躍支援センターリオリオ開催の講座受講者数	127人	300人
地域活動の場での男女が平等であると考える人の割合	26.9%	40%

### 施策3-2 若者活躍

#### めざす姿

- 青少年が地域に誇りと愛着をもち、地域を舞台に活躍できるよう、自ら挑戦できる機会や、地域住民とつながる機会を提供しています。
- 青少年が安全で自由に過ごすことのできる居場所として、活動拠点が整備されています。

#### 注力する取組

- 未来を担う若者たちが地域へ愛着をもつことができるよう、すべての若者が安心して過ごせる居場所を設置し、若者が継続的に地域活動を行うためのグループを育成します。

#### □KPI(重要業績評価指標)

指標	現状(令和5年度)	目標(令和11年度)
市が開催する若者に向けた取組に関わった若者の人数	57人	100人
女性や若者が夢を叶えられるまちだと感じる人の割合※	12%	40%

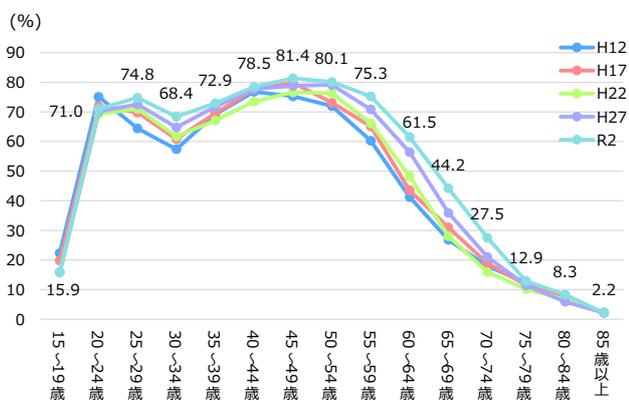
※本指標は女性活躍、若者活躍の両施策に関わる指標ですが、本計画では若者活躍の施策に掲載しています。

## 解決を図る現在の状況

- 令和2年の共働き世帯の割合は60.5%と増加傾向にあり、令和2年の女性の就業率は54.4%と一定の水準を保っていますが、30代にかけて落ち込み、その後再び上昇するM字カーブとなっています。年齢や家庭状況により女性の就業率には差があり、仕事と家庭生活の両立における支援体制へのニーズが高くなっています。
- 職場環境において、女性のキャリアアップを望む声に対する支援が不十分です。
- 政策決定の場における女性の参画が足りておらず、審議会委員に占める女性の割合は30.8%と低い水準に留まっています。
- 青少年が地域で活躍できる機会が少なく、青少年と地域とのつながりが減少しています。

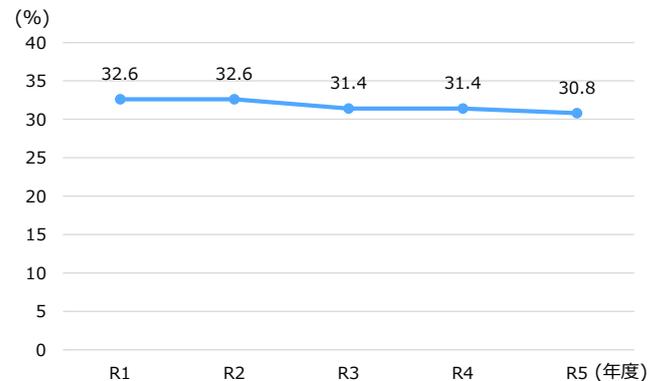
## 主なデータ

年齢階級別女性就業者割合の推移



資料：総務省「国勢調査」

審議会委員に占める女性の割合の推移



資料：内閣府「市町村女性参画状況見える化マップ」

## 個別計画

- 美濃加茂市女性活躍推進計画
- みのかも男女共同参画基本計画

## 政策4 多文化共生

まちづくり宣言～政策のめざす姿～

みんなで一步を踏み出そう！

～お互いのことを理解し、ダイバーシティを生かした魅力あるまちをめざします～

### 施策4-1 多文化共生

#### めざす姿

- 国籍の違いを超えて安心して暮らすことができる多文化共生社会を実現しています。
- 互いの文化を尊重し合いながら、外国人市民も地域のパートナーとして活躍できる環境を整備し、外国人市民の自立を促進しています。
- 多くの外国人市民は、高校に進学して、自分の学びたいことを学び、進学や就職などの進路に夢をもっています。
- 外国人市民と日本人市民は、「やさしい日本語」を使って、通訳などを利用することなく、直接コミュニケーションをとっています。

#### 注力する取組

- 外国人市民の地域での共生を後押しするため、日本で生活するうえでのルールを可視化し、外国人市民と日本人市民がお互いにより分かり合える取組を推進します。
- 災害時に備え、外国人防災リーダーとしての役割を担う外国人市民を育成します。
- 外国人市民の小中学生に対しては放課後学習支援を行い、義務教育年齢を超えたこどもに対して高校進学支援を行います。
- 外国人市民の日本語習得機会の創出とあわせて、日本人が外国人にとってわかりやすい簡単な「やさしい日本語」で伝えることの大切さを周知します。

#### □KPI(重要業績評価指標)

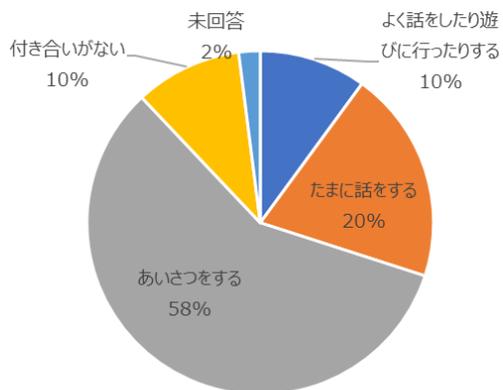
指標	現状(令和5年度)	目標(令和11年度)
多文化共生のまちづくりが進んでいると感じる人の割合	30.9%	50%
災害時等通訳サポーターの登録者数(累計)	33人	50人
外国人市民の高校進学率	82.4%	99.1%
簡単な日本語を理解できる外国人市民の割合(聞く・話す力の平均割合)	63%	80%

### 解決を図る現在の状況

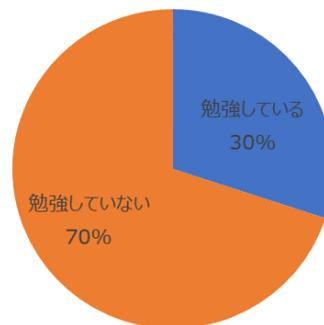
- 外国人市民アンケート(令和6年度)では近隣の日本人との付き合いについて、58%が「あいさつをする」程度に留まっており、外国人市民の地域活動への参加促進や、日本人市民との相互理解を深める機会が不足しています。
- 外国人人口は増加傾向にあり、令和6年4月1日現在で5,983人となっています。外国人市民の増加に伴い、多国籍化が進み、災害時の対応など言語の壁は依然として生じています。外国人市民アンケート(令和6年度)によると、70%が「日本語を勉強していない」と回答し、その主な理由として「通いやすい教室がない」ことも挙げられており、日本語学習の機会に対するニーズが高まっています。

## 主なデータ

外国人市民の近隣の日本人との付き合い(令和6年度) 日本語を勉強している外国人市民の割合(令和6年度)



資料:美濃加茂市「外国人市民対象 アンケート」



資料:美濃加茂市「外国人市民対象 アンケート」

## 個別計画

○美濃加茂市多文化共生推進プラン

## 政策5 地域再生

まちづくり宣言～政策のめざす姿～  
 地域の魅力をアップデート！  
 ～10年先を見据えたまちづくりをめざします～

### 施策5-1 市民活動

#### めざす姿

- 多様な世代や立場の市民が交流する地域コミュニティが充実し、市民主体のまちづくりが推進されています。
- 市民と行政が緊密に連携し、地域課題を共有しながら、それぞれの役割を明確にした上で相互に協力しています。

#### 注力する取組

- 本来の住民自治活動に注力できるようにするため、自治会支援を充実します。
- 自治会内では解決することが難しい問題について、専門家に相談できる環境を整備します。

#### □KPI(重要業績評価指標)

指標	現状(令和5年度)	目標(令和11年度)
自治会等の地域コミュニティは重要だと思う市民割合	—	70%
住みよいまちだと感じる人の割合	70.4%	80%

### 施策5-2 移住・定住

#### めざす姿

- 関係団体との交流や関係人口の増加を促進することによって、地域の活性化が進んでいます。
- 地域の魅力を発信することによって、新たな移住者の獲得と定住促進が進んでいます。

#### 注力する取組

- 関係人口の創出を進めるため、古民家を拠点とした里山資源活用を中心に地域に必要な人材を育成し、活躍できる場を整備します。

#### □KPI(重要業績評価指標)

指標	現状(令和5年度)	目標(令和11年度)
空き家バンクが窓口となって移住した件数(空き家バンク成約数)	3件	6件

### 施策5-3 公共交通

#### めざす姿

- 移動手段が限られた人や運転が困難な人も含めて、行きたい場所へ移動できる、だれにとっても優しく、暮らしやすいまちが実現しています。

## 注力する取組

○自家用車を運転できない人の生活に必要な移動手段の選択肢を増やすため、住民意見を取り入れた利便性の高い公共交通を整備します。

## □KPI(重要業績評価指標)

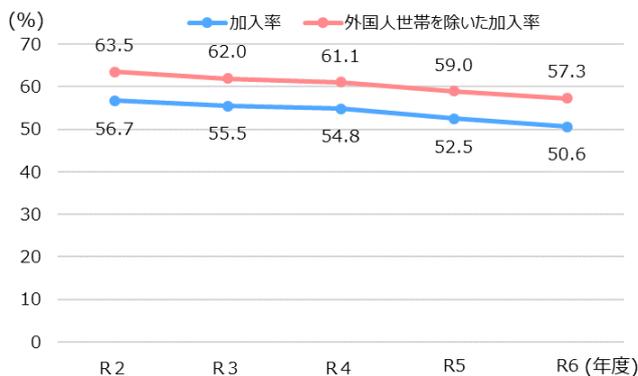
指標	現状(令和5年度)	目標(令和11年度)
あい愛バス利用者数	141,411人	170,000人

## 解決を図る現在の状況

- 令和2年度に56.7%だった自治会加入率は令和6年度には50.6%と減少しており、住民自治の重要性を認識する市民が減少しています。また、特に若年層や転入者等の自治会未加入者が増加しています。
- 自治会加入者からは、従来の取組等に対し、負担が大きいとの不満が継続しています。
- 価値観の多様化や都会志向により、若者の地元離れが進行しています。
- あい愛バスの利便性の満足度(令和6年度)について、乗り継ぎの際の待ち時間は13.2%、乗り継ぎに関する情報案内は14.0%、利用のしやすさは22.0%と、利便性の満足度が十分ではありません。

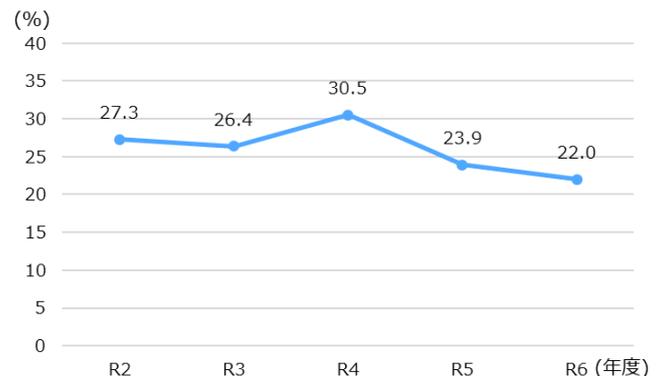
## 主なデータ

自治会加入率の推移



資料:美濃加茂市

あい愛バスの利用のしやすさの満足度の推移※



※「満足」+「やや満足」の回答割合

資料:美濃加茂市「市民満足度調査」

## 個別計画

○美濃加茂市地域公共交通網形成計画

## 政策6 生涯学習・文化・スポーツ

まちづくり宣言～政策のめざす姿～

生涯学習、文化、スポーツを生かして未来を担うひとを育む！

～すべての市民が主体的に学び、人と関わることができるまちをめざします～

### 施策6-1 生涯学習

#### めざす姿

- だれもが生涯を通じて、学びたいときに学べる環境が整い、学びを通じて心豊かな暮らしを送っています。
- 学習活動を通じて人や地域のつながりが生まれ、学習成果を住みよい地域の実現に生かしています。
- 市民に夢を与えられるような質の高い音楽や演劇など文化芸術活動に親しむことができます。
- 人権教育や平和活動を通じて、市民が多様性や平和の大切さを理解し、伝える機会が提供されています。
- 図書を通じて、市民が必要とする資料を提供し、市民の情報や知識を求める欲求に十分応えています。
- 乳幼児期から本に触れ、読書の楽しさに触れる機会が提供されています。

#### 注力する取組

- 自主サークルがより多く活動できるようにするため、きっかけとなる市民企画講座を実施します。
- 小学校低学年児童を対象に、地域資源を生かした体験学習の機会を提供します。
- 市民ニーズにあわせた音楽や演劇などを気軽に鑑賞できる機会に加え、市民自ら参加できる発表の機会を創出します。
- 人権に対する意識や平和に対する意識の高揚を図るための啓発活動を実施します。
- 赤ちゃんから大人になるまで切れ目のないサービスが継続できるよう、こどものうちに本を読んで楽しかった記憶や本を読んで発見する機会を提供します。

#### □KPI(重要業績評価指標)

指標	現状(令和5年度)	目標(令和11年度)
生涯学習施設開催事業参加者数(生涯学習センター分)	3,520人	5,500人
地域教育推進事業(楽習ひろば)参加者数	4,166人	4,500人
文化会館自主事業参加者数	3,543人	5,300人
出張図書館事業の実施件数	1件	9件
図書館利用者数	134,198人	190,000人

### 施策6-2 文化

#### めざす姿

- みのかも地域文化資源の保存・活用が進むことにより、市民が知的好奇心を満たし、文化的で心と体が健康な生活を送っています。
- さまざまな文化資源に対する人々の想いがつながり、更に磨かれ息づくことにより、それらの資源がより多くの人に共有され、将来に継承され続けています。
- 地域の文化や伝統に触れる機会を通じて人と出会い、触発されることで、故郷への誇りと愛着をもつ青少年が育っています。

## 注力する取組

- 展示されているリアルな資料・標本・記録に来場者がじっくり向き合い、それらが語ることを感じたり考えたりする場にするために、「気づき」と「築き」が起きる常設展示室の充実を実施します。
- 地域の特性や特徴を知ってもらうため、民俗・自然史分野から環境保全への興味・関心を抱かせるプログラムを実施します。
- みのかも文化の森の「人・もの・こと・場」を活用することで、「本物」との出会いを生かした「ここでしかできない活動」を通じて得られる気付きや感動を伝えるため、学校活用におけるこどもたちの心の変容につながるプログラムの改良や乳幼児や中高生、在住外国人など関わりが少ない年代層が関わるプログラムを実施します。

### □KPI(重要業績評価指標)

指標	現状(令和5年度)	目標(令和11年度)
収蔵資料のホームページにおける公開件数(累計)	77,546件	85,000件
民俗・自然史の展示資料を活用した講座の参加者数(累計)	530人(R5)	2,700人(R7~R11)
講座等学習機会への参加者数における20代までの参加者数の割合	26.21%	33%

## 施策6-3 スポーツ

### めざす姿

- する、みる、ささえるの3つの視点で、市民一人ひとりが生活スタイルにあわせて、生涯を通じてスポーツを楽しんでいます。
- 多くの市民に愛され、気軽に利用できるスポーツ施設が整備されています。
- 地域が一体となって行うスポーツ活動が推進されています。

### 注力する取組

- 生活のなかで身近にスポーツができる場があることを市民に感じてもらうため、利用者の利便性が向上するスポーツ施設の貸出しを実施します。
- こどもから高齢者まで誰でも気軽に参加でき、本市の魅力を再認識できるイベントとなるように、ウォークみのかもの内容を充実させます。

### □KPI(重要業績評価指標)

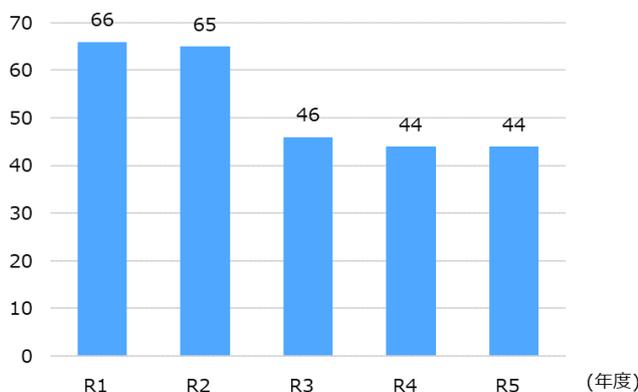
指標	現状(令和5年度)	目標(令和11年度)
週1回以上運動する人の割合	49.3%	70%
牧野ふれあい広場陸上競技場の個人利用者数	—	14,000人
総合運動場の利用率	22%	30%
ウォークみのかもに初めて参加する方の人数	282人	500人

## 解決を図る現在の状況

- 生涯学習センターで活動するサークル数は令和元年度に66団体でしたが、令和5年度は44団体となっており、自主的に活動を行うサークル数、人数は減少傾向にあります。
- 生涯学習センターの築年数が40年を超えるなど、生涯学習施設の老朽化により、より快適な施設の維持が難しくなっており、今後、市民の生涯学習の機会が減少する恐れがあります。
- 読み聞かせの参加者数は令和元年度には9.4人(1回あたり)でしたが、令和5年度には7.3人と減少しており、読み聞かせに参加するこどもの数が減少するなど、本に触れる機会が少なくなっています。
- みのかも文化の森(博物館)の地域資源収集やデータベース整備状況に対し、市民の利活用は令和5年度は8件となっており、一定の水準に留まっています。
- 文化振興活動を行う団体の減少により、地域の伝統的な暮らしや文化、人々が古くから大切に地域に根付いてきた有形無形の文化資源が、次の世代に継承されなくなる恐れがあります。
- 中高生などがみのかも文化の森(博物館)を利用する機会が少ない状況です。
- 週に1回以上運動している人は令和5年度で全体の49.3%となっており、国平均(52%)と比べて低く、健康維持のために、暮らしのなかで定期的に運動している市民は少ない状況です。
- 市民のスポーツ大会の参加者数は、令和元年度は3,071人でしたが、令和5年度は2,063人となっており、新型コロナウイルス感染症の拡大前の参加者数に達していない状態であり、団体種目も減少しています。
- 若手指導者の育成や少子化に対応したスポーツ団体の組織運営が求められています。

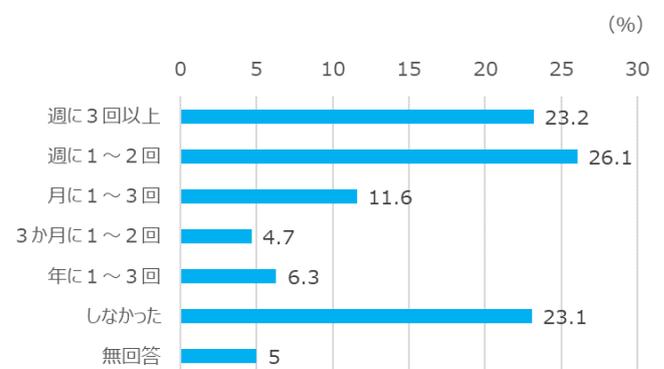
## 主なデータ

生涯学習センターで活動するサークル数の推移



資料:美濃加茂市

スポーツや運動をしている人の割合(令和5年度)



資料:美濃加茂市「市民満足度調査」

## 個別計画

- 美濃加茂市人権施策推進指針
- みのかも文化の森ビジョン
- 美濃加茂市文化財保存活用地域計画
- 美濃加茂市スポーツ推進計画

## 政策7 学校教育

まちづくり宣言～政策のめざす姿～

自分が思い描く幸せな未来を創造していくこどもを育む！

～学校・家庭・地域社会が力を合わせて多様な学びを支えるまちをめざします～

### 施策7-1 児童生徒育成

#### めざす姿

- 未来への礎となる力を身に付けることができる教育が推進されています。
- 心身ともにたくましく学ぶことができる教育が推進されています。
- 安心して自分らしさを発揮できる教育が推進されています。
- 学びに携わる機関が連携し、誕生から高等学校卒業までの切れ目のない教育が推進されています。
- 教職員の資質能力の向上と働きやすい職場環境づくりを進め、持続可能な学校の指導・運営体制となっています。

#### 注力する取組

- 確かな学力と実践力を身に付けるために、ICTをこれまでの授業実践と最適に組み合わせて活用するとともに、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善を図っていきます。
- 豊かな心を育むとともに、自己有用感を高めるために、美濃加茂の自然・歴史・文化、そして地域の社会資源を生かした体験活動の機会を充実します。
- 運動の楽しさや体を動かすことの心地よさを味わうことができるよう、より一層、体育の授業と学校行事等との関連を図るなど、運動に親しむ機会を充実します。
- スポーツや文化芸術に継続して親しむことができる機会を確保するために、関係課等が連携し、休日の中学校部活動の地域移行を推進します。
- いじめ・不登校の未然防止等を図るために、みんなが安心して学ぶことができる特色ある学校づくりを推進するとともに、学校内外の教育支援センターの機能を充実します。
- 特別な支援を必要とする児童生徒一人ひとりの教育的ニーズを把握し、自立と社会的参加に必要な力を育むために、医療と教育との連携による特別支援教育を充実します。
- 外国人児童生徒が円滑に学校生活を送り、自信をもって学ぶことができるよう、多文化共生の理念の下、適応指導や日本語指導等の支援を充実します。
- 公表会等による研修機会の充実を図るとともに、管理職に対して、労務管理や協働的で健全な学校経営についての研修を実施します。

#### □KPI(重要業績評価指標)

指標	現状(令和5年度)	目標(令和11年度)
課題の解決に向けて、自分で考え自分から取り組んでいると思う児童生徒の割合	小)79.6% 中)85.9%	小)90% 中)90%
自分にはよいところがあると思う児童生徒の割合	小)83.6% 中)80.0%	小)90% 中)90%
地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う児童生徒の割合	小)76.0% 中)71.1%	小)85% 中)85%
将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合	小)80.1% 中)65.3%	小)90% 中)75%

全国体力・運動能力、運動習慣等調査における総合評価C以上の児童生徒の割合	小)49.2% 中)71.1%	小)60% 中)80%
休日の中学校部活動を地域移行した割合	40.5%	100%
認知したいじめのうち、解消したものの割合	92.1%	100%
学校内外の機関等で相談・指導等を受けていない不登校児童生徒の割合	20%	0%
あじさい発達相談および巡回発達相談の実施回数	307回	400回

## 施策7-2 教育環境

### めざす姿

- 児童生徒の安全で快適な学習環境と教職員の職場環境が実現しています。
- 給食の充実により、安全・安心で、良質なおいしい学校給食を安定して提供しています。

### 注力する取組

- 学校建物の老朽化に伴う大規模改修などを計画的に進めます。
- 学校施設のバリアフリー化やトイレ改修、照明のLED化、空調設備の設置、改修整備などを順次実施します。
- 給食センターの機能を適切に維持(予防保全)し、地産品を積極的に利用した給食や食物アレルギーに対応した給食を提供します。
- 給食に有機あるいはそれと同等程度の農産物を利用した給食を継続して提供できるよう、関係課等が連携し、資源の調査、事例研究および勉強会等を実施します。

### □KPI(重要業績評価指標)

指標	現状(令和5年度)	目標(令和11年度)
学校施設のトイレ洋式化率	71.8%	90%
学校施設(普通教室、特別教室、管理諸室、体育館)の空調設置率	88.4%	100%
給食を「おいしい」と回答する児童生徒の割合	—	100%

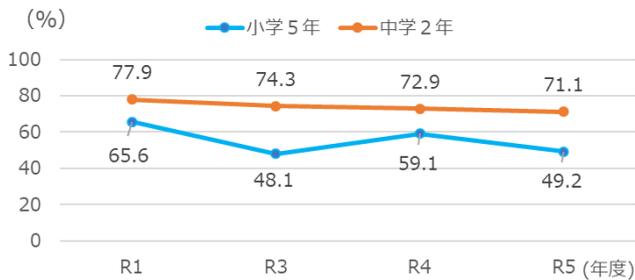
### 解決を図る現在の状況

- ICT環境が整備されつつあるものの、教職員が授業にICTを活用して指導する能力は78.2%と全国平均80.4%を下回っており、その活用方法や校務のデジタル化推進は、十分な状態ではありません。
- 社会環境の変化により体を動かす機会が減少しており、また、一定の体力基準を満たす児童生徒の割合は減少傾向(令和元年度:中学生77.9%、小学生65.6% 令和5年度:中学生71.1%、小学生49.2%)にあり、体力に関する課題が確認されています。
- いじめ事案が確認され、また、令和2年度に2.19%だった不登校児童生徒の出現率は令和5年度には3.44%と上昇傾向にあることから、日常的な相談体制の充実、誰もが安心して学べる環境の整備、迅速に対応できる組織体制の強化等が必要です。
- 特別な支援を必要とする児童生徒の割合(令和元年度3.28%から令和5年度は4.39%)や外国人児童生徒の割合(令和元年度8.77%から令和5年度11.33%)は増加傾向にあり、学習環境の整備や教職員の専門性向上が必要です。
- 多様化する教育ニーズに対応するため、安定した人材の確保・配置が課題であり、教職員の長時間労働の是正や心身の健康管理、業務の効率化を図り、働きやすい・働きがいのある職場の実現が必要です。

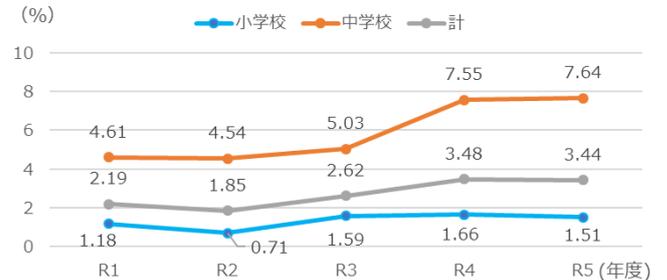
- 小学校・中学校施設は、現在築40年以上の建物が71.7%を占めるなど老朽化が進み、引き続き計画的な改修や建て替えなどが必要です。
- 10年前から100人以上の児童生徒が増え、教室等が手狭となり、適切な学習環境を確保することが難しくなっている学校があります。
- 給食センターは設備の老朽化が進み、食物アレルギーの配慮・管理が必要な児童生徒は令和3年度の287人から令和5年度は408人となっており、増加するニーズへの対応が難しくなっています。

## 主なデータ

全国体力・運動能力、運動習慣等調査における  
総合評価C以上の児童生徒の割合の推移※



不登校児童生徒の出現率の推移



※令和2年度は調査未実施

資料:文部科学省「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」

資料:美濃加茂市

## 個別計画

- 美濃加茂市教育振興基本計画

## 政策8 市民福祉

まちづくり宣言～政策のめざす姿～

みんなが支え合い、ともに歩む福祉のまちづくり！

～だれもが地域社会のなかでともに暮らしていくことができるまちをめざします～

### 施策8-1 地域福祉・児童福祉

#### めざす姿

- 地域福祉の啓発と人材育成を通じて、地域全体が支え合う社会を実現しています。
- 包括的な支援体制を構築することによって、多様なニーズに対応する福祉サービスの提供を可能とし、安心して暮らせる社会を実現しています。
- すべての人が社会に参加できる機会が増え、人と人、人と社会がつながる地域を実現しています。
- 生活困窮者が自立するための支援が行き届き、関わりが育まれています。
- 子育て世帯への支援が充実し、次世代を担うこどもたちの健やかな成長を支えています。

#### 注力する取組

- 安心・安全な社会参加ができ、社会的孤立を防止するため、重層的支援体制整備事業および発達支援センター事業の関係機関への周知を強化します。
- 複雑化・複合化した課題に対し、属性や世代を問わず包括的に支援を届けるため、支援機関のネットワークによる支援と地域づくりを充実します。
- ひとり親家庭の生活の安定と児童の心身の健やかな成長のため、ひとり親家庭に対する生活支援および就労支援体制を確立・拡充します。

#### □KPI(重要業績評価指標)

指標	現状(令和5年度)	目標(令和11年度)
福祉支援関係機関が今後も継続して連携を図りたいと思う割合	—	75%
「児童扶養手当一部支給停止適用除外事由届」※を提出した者の割合	40.8%	38%

※児童扶養手当一部支給停止適用除外事由届：児童扶養手当は、手当の支給開始等から一定期間が経過した場合、手当が一部支給停止になります。ただし、一定の要件に該当する場合に届け出をすることによって、それまでどおり受給することができる届出書です。

### 施策8-2 障がい福祉

#### めざす姿

- 障がい者の地域生活支援が行き届いています。
- 発達障がいを含め、障がいのあるこどもたちを早期に発見する相談体制が整っています。

#### 注力する取組

- 自分らしい生活を自らの意思で選択・決定できるよう、障がいに応じた各種サービスを確保し、身近な地域で安心して暮らすことができる支援体制を充実します。

## □KPI(重要業績評価指標)

指標	現状(令和5年度)	目標(令和11年度)
地域の相談支援事業者に対する専門的な指導・助言件数	24件	36件

**施策8-3 高齢者福祉・介護**

## めざす姿

- 高齢者やその家族が住み慣れた地域で安心して暮らしています。
- 高齢者の見守りなど、地域住民が参加できる活動を促進し、高齢者が支え合う地域づくりが推進されています。
- 高齢者が、生きがいをもって、元気でいきいきと生活できるよう、健康づくりや介護予防、生きがいづくりが推進されています。
- 地域の実情に応じた介護保険サービスが充実しており、持続可能な介護保険制度が実現しています。

## 注力する取組

- 地域住民や地域の各種団体、福祉・介護などの事業所、生活関連サービスを提供する民間事業者等と、警察・消防等を含めた行政機関が、多角的な視点で地域の高齢者を見守り、異変などを早期発見できる体制を構築します。
- 高齢者の社会参加や相互扶助のための環境づくりを推進するため、介護支援ボランティアの育成および活動の場を拡大します。
- 認知症の初期の段階で、医療と介護の連携のもと、認知症の人や家族に対して個別的かつ適切な支援を行うため、身近な場所での介護予防・認知症予防講座の実施を充実します。
- 介護職の担い手確保のため、職業理解を深める啓発を実施するとともに、事業者の人材確保を支援します。

## □KPI(重要業績評価指標)

指標	現状(令和5年度)	目標(令和11年度)
高齢者見守りネットワークの事業者数(累計)	51か所	58か所
介護支援ボランティア登録者数(累計)	680人	740人
地域で活動に参加する高齢者の割合	79.8%	85%
人材が不足していると感じる介護事業所の割合	—	67.4%

**施策8-4 国民健康保険・後期高齢者医療保険**

## めざす姿

- 健康保険制度による被保険者が保険診療を受診できるように、適正に資格を管理しています。
- 病気の早期発見、早期治療によって、市民が健康であり、安定的な健康保険制度が運用されています。

## 注力する取組

- 生活習慣病の早期発見・早期治療を目的とし、特定健診受診率向上に向けての受診勧奨を強化します。
- 健康寿命を延伸し、効果的・効率的な介護予防を実施するため、高齢者の保健と介護予防の一体的実施を継続します。

## □KPI(重要業績評価指標)

実施	現状(令和5年度)	目標(令和11年度)
特定健診受診率(国民健康保険)	33.4%	46%
健康状態不明者※の減少(後期高齢者医療保険)	1.5%	1.4%

※健康状態不明者:該当年度において健診なし、医療未受診、要介護認定なしの被保険者

## 施策8-5 住民情報・戸籍

### めざす姿

- 市民生活と密接する個人番号等を含む住民情報や戸籍情報を適正に登録し、管理しています。
- 各種手続きが簡素化され、いつでもどこからでも申請できることで、利用者の利便性が向上し、行政事務の効率化がされています。

### 注力する取組

- 日常生活のさまざまな場面における官民のサービスの利便性向上のため、専用窓口におけるマイナンバーカードの交付、申請等サポートを推進します。
- オンライン利用による市民にとってのメリットを拡大していくため、コンビニ交付サービスの周知・利用促進を推進します。

## □KPI(重要業績評価指標)

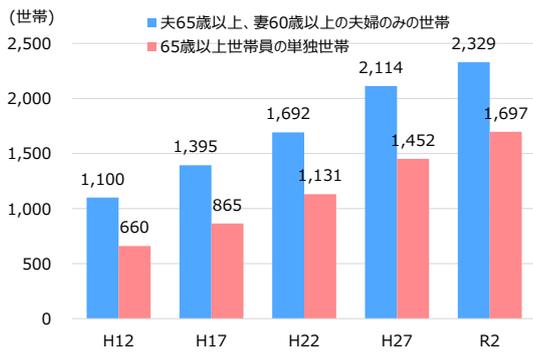
指標	現状(令和5年度)	目標(令和11年度)
マイナンバーカード交付率	81.79%	100%
各種証明書(所得証明書、課税証明書を含む)のコンビニ交付率	56.1%	58%

## 解決を図る現在の状況

- 福祉サービスへの需要が増大し、サービス提供の担い手不足が深刻な状態です。
- 家族構成の変化と多様化により、生活課題の複雑化・複合化が進んでいます。
- 令和4年度の生活保護世帯は162世帯と平成30年度の133世帯から増加しており、生活困窮者への対策の重要性が増しています。
- 児童扶養手当一部支給停止適用除外事由届を提出した人の割合は令和5年度に40.8%となっており、児童扶養手当受給者の多くが長期受給者となっています。
- 令和4年度の療育手帳の所持者は566人(平成30年度461人)、精神障害者福祉手帳の所持者は603人(平成30年度438人)と増加傾向にあり、必要な支援を提供するための体制を維持していくことが難しくなっています。
- 令和2年国勢調査では、高齢夫婦のみ世帯は2,329世帯(平成12年比2.1倍)、高齢単身者世帯1,697世帯(平成12年比2.6倍)と増加しており、高齢者の生活支援ニーズが高まっています。
- 令和3年度の要介護・要支援認定者数は2,156人(平成29年度1,984人)、介護保険給付額は3,268百万円(平成29年度2,999百万円)とともに増加しており、今後も介護サービスの需要が高まる見込みです。
- 令和元年度に274,796円だった被保険者一人あたりの医療費(国民健康保険)は令和5年度には296,359円と近年増加傾向にあります。
- オンライン手続きや窓口 DX(窓口手続きのデジタル化)が進んでおらず、支援が必要な方へのサービス利便性が不足しています。

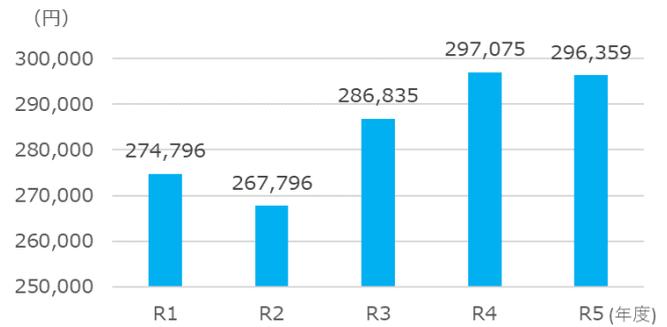
## 主なデータ

### 高齢者がいる世帯の推移



資料:総務省「国勢調査」

### 一人あたりの医療費の推移(国民健康保険)



資料:国保データベース(KDB)システム

## 個別計画

- 美濃加茂市地域福祉計画
- 美濃加茂市障がい者プラン
- 美濃加茂市高齢者福祉計画・介護保険事業計画
- 美濃加茂市国民健康保険保健事業実施計画(データヘルス計画)および美濃加茂市国民健康保険特定健康診査等実施計画

## 政策9 産業振興

まちづくり宣言～政策のめざす姿～

活力と“豊かさ”あふれるまち！

～付加価値を高め、つくる楽しみと生きがいを感じるまちをめざします～

### 施策9-1 商工・消費生活相談

#### めざす姿

- 市民、事業者、市役所が連携し、市内の商工業を守り、育てることによって、商工業が活発化し、地域全体の経済が活性化されています。
- 創業や起業しやすい環境整備や事業承継に対する支援を進めることによって、雇用の定着・創出が実現されています。
- 消費者被害の防止により、消費者被害にあう市民が減少し、必要に応じて救済されています。

#### 注力する取組

- 地域経済を牽引する中堅・中小企業を支援し、地域の雇用の拡大、所得向上、そして人口減少対策につなげていくため、企業誘致の奨励金や小口融資制度の利子補助などの助成を実施します。
- 地域における課題を解決し、地域発のイノベーションを創発するため、スタートアップを支援します。
- 消費者の相談支援に加え、消費生活被害防止の啓発と消費生活相談事例の情報発信を継続的に実施します。

#### □KPI(重要業績評価指標)

指標	現状(令和5年度)	目標(令和11年度)
市内事業者数(商工会議所一般会員数)	1,347事業所	1,400事業所
起業件数(累計) ※姫 Biz 事業によるもの	134件	200件
消費者被害救済件数割合	93%	95%
一人あたりの市内総生産額※	3,993千円	4,100千円

※一人あたりの市内総生産額は公表年度をもとに記載しています。

### 施策9-2 観光

#### めざす姿

- 地域の観光資源を最大限に活用し、魅力あるまちづくりを進めることによって関係人口が増加しています。

#### 注力する取組

- 歴史や文化、生活を観光資源として活用し、「にぎわい創出」を推進するため、中山道の観光地としての方向性を決定し、美濃太田駅以南から木曽川エリアにおける民間が主体となったイベントを充実させます。
- 市民が語れる本市の観光イメージづくりのために、広域連携を含む市内全域の観光・イベントについて、一元化した情報発信を推進します。

#### □KPI(重要業績評価指標)

指標	現状(令和5年度)	目標(令和11年度)
中山道会館入館者数	85,293人	100,000人

観光案内所利用者数	4,946人	6,000人
産業・観光振興に積極的に取り組んでいると感じる人の割合※	21.6%	50%

※本指標は商工・消費生活相談、観光、農業、里山の施策に関わる指標ですが、本計画では観光の施策に掲載しています。

## 施策9-3 農業

### めざす姿

- ベテランの担い手が新たな担い手を生むという未来へ向けて循環する仕組み、誰もが地域農業の担い手となる仕組みが構築されています。
- 農地を再生し、次世代に渡って農地という資産として活用されるように、それぞれの農地に適した農産物の作付けや管理がされています。
- 生産者がより安全で品質の高い農産物をつくるためのサポートをはじめ、農業から持続可能な社会が実現されています。

### 注力する取組

- 地域の柱となる担い手になる仕組みづくりのために、新規就農者への支援を実施します。
- 良質な農産物を生産し、効率的に農地を管理できる農業経営を推進するために、スマート農業の普及を促進します。
- 安定的に市内産農産物を供給するために、水田などのまとまった農地でさまざまな農産物が生産されるよう、市の奨励作物への転作やそれにかかる機械設備整備等に対して支援します。
- 今後も継続して耕作し続けていくために、農業の担い手への農地集積のための啓発を実施します。

### □KPI(重要業績評価指標)

指標	現状(令和5年度)	目標(令和11年度)
新規就農者数(累計)	6人(R2~R5)	20人(R2~R11)
スマート農業導入農業者数(累計)	3人(R2~R5)	10人(R2~R11)
農地集積率	12.6%	20%

## 施策9-4 里山

### めざす姿

- 自然環境と美しい風景を後世に残すための里山が整備されることによって、野生動物の被害が減少しています。
- 里山を利活用した教育支援や健康づくりの場が創出されています。
- 産業が調和的に発展することによって、自然と人が共生する持続可能な地域社会を構築しています。

### 注力する取組

- 農作物被害の増加を抑制するため、里山林整備、有害鳥獣捕獲を継続します。
- 自然をいつまでも大切に守ってくれるような大人に育っていくよう、整備された里山のなかでさまざまな体験を通じて、こどもたちの「学びの場」を提供します。
- 里山に興味のある人たちに活動の場と生涯の楽しみを提供できるよう、山林所有者に協力を得ながら、市民が自分たちで里山を整備、維持することが必要であることを知ってもらうための取組を継続します。

## □KPI(重要業績評価指標)

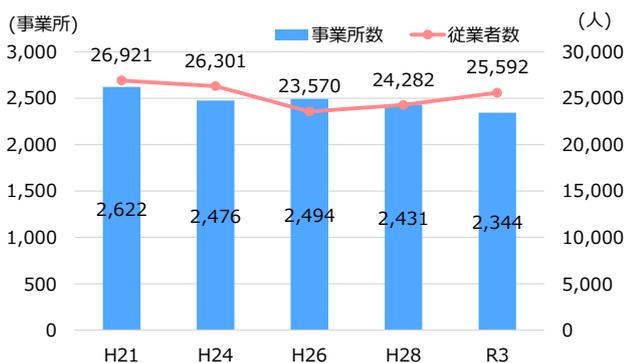
指標	現状(令和5年度)	目標(令和11年度)
有害鳥獣被害額	19,900千円	13,000千円
地域住民による里山を整備する団体数(累計)	18団体	23団体

## 解決を図る現在の状況

- 令和3年経済センサスでは、市内の民営事業所数は2,344事業所と平成21年調査から278事業所減少しているため、商工業事業者の労働力と事業承継者の不足が懸念されています。
- 美濃太田駅南地区において、事業者の高齢化が進み、令和元年度に197店あった営業店舗数は令和6年度には155店となっており、減少が進んでいます。
- 消費形態や犯罪の複雑化が進み、令和元年度に199件あった消費生活相談件数は令和5年度には217件となっており、消費者被害の増加が懸念されています。
- 中山道地域は居住区域となっており、中山道の観光地としての方向性を定めることが難しくなっています。
- 太田宿中山道会館は築20年近くになるなど、観光施設の老朽化なども進み、観光資源が十分に活用できていません。
- 令和2年農林業センサスでは、農家数が1,287戸と減少傾向にあり、特に販売農家数は540戸と平成27年調査の735戸から大きく減少しており、遊休農地が増加し、担い手の確保が難しくなっています。
- 老朽化する農業用施設の増加や施設の機能不足が生じています。
- 令和5年度の有害鳥獣被害額は年間で19,900千円にのぼり、野生動物の生息地拡大と被害が深刻化しています。

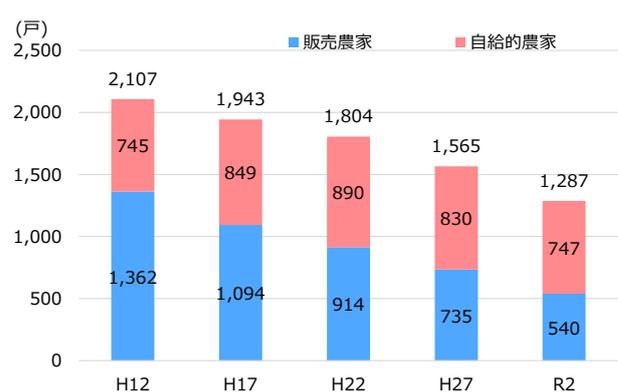
## 主なデータ

民営事業所数・従業者数の推移



資料：総務省「経済センサス－基礎調査」、  
総務省・経済産業省「経済センサス－活動調査」

農家数の推移



資料：農林水産省「農林業センサス」

## 個別計画

- 里山千年構想
- 里山千年基本計画
- みのかも農業ビジョン

## 政策10 環境

まちづくり宣言～政策のめざす姿～

豊かな自然と快適な生活環境を未来へつなぐ！

～身近な自然に親しみを感じ、自然を楽しみながら暮らすことができるまちをめざします～

### 施策10-1 環境保全

#### めざす姿

- 廃棄物の排出を減らし、再利用や資源化を進め、市民、企業、市役所が一体となって、温室効果ガスが削減されています。
- 脱炭素を実現し、気候変動によるリスク回避に貢献しつつ、市民の暮らしの質を向上させることで、活力ある社会が実現されています。
- 圏域の在来種の保存や生息環境の保全に取り組むことで、生物多様性が守られています。

#### 注力する取組

- 市民、企業、市役所が連携して再生可能エネルギー、省エネルギーの効果的な施策の研究、導入および事業財源の確保を実施します。
- SDGsの理念を理解および普及し、地域の課題解決につながる市民の意識の醸成と行動を喚起します。
- 地域の問題として公害となるような状況を未然に防ぐために、野焼きの抑制に向けた効果的な対策、取組の研究を実施します。
- 次世代に継承すべき市の財産といえる多様な動植物が生息する地域を守るために、在来種の保存、生息環境の保全のための啓発活動に取り組み、外来種の防除を実施します。

#### □KPI(重要業績評価指標)

指標	現状(令和5年度)	目標(令和11年度)
温室効果ガスの排出量(平成25年度比)	-20%	-46%
SDGsについて言葉も市の取組内容も知っている人の割合	40.4%	70%
環境フェアや生物多様性学習会等への参加者数	2,487人	4,000人

### 施策10-2 生活環境

#### めざす姿

- リサイクル啓発、エネルギー節約等の環境教育、地域の美化活動といった啓発・保全活動を通じて、暮らしやすいまちが実現されています。
- 集積所へのごみの出し方について、市民が自主的にルールを守り、美化意識が醸成されることで、不法投棄のない清潔で快適な生活環境が維持されています。

#### 注力する取組

- 不法投棄やポイ捨て、集積所の不足、独居老人や障がいのある方の搬出の困難化等、ごみに関する課題を解決するための持続可能な方策について必要な調査・研究、実証に取り組みます。
- 環境負荷軽減と食品ロス削減に資する生ごみ減量のために、効果的な取組の研究を実践し、生ごみのたい肥化等、

ごみ減量促進の啓発を実施します。

○ごみの適正処理を継続してするために、集積所のあり方の見直しとスマホ市役所(市公式 LINE アカウント)を活用したごみの出し方等情報発信の充実に取り組みます。

□KPI(重要業績評価指標)

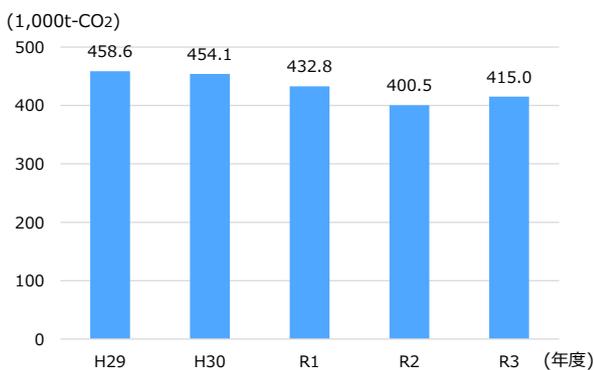
指標	現状(令和5年度)	目標(令和11年度)
不法投棄回収量(公共用地分:計画期間年度平均値)	794Kg	650Kg
生活系、事業系ごみの1人1日あたりの排出量	698g	600g
ごみ集積所を使いやすいと思っている人の割合	—	80%

解決を図る現在の状況

- 令和3年度市内の二酸化炭素排出量は、415.0千t-CO<sub>2</sub>と、平成29年度から43.6千t-CO<sub>2</sub>減少していますが、再生可能エネルギーの活用と省エネルギーの推進が不足しています。
- 企業を巻き込んだエネルギー事業の推進と、市のゼロカーボンシティ宣言に対する市民の認知度向上が求められています。
- 野焼きが慣習的に行われており、例外的な農業行為においても苦情やトラブルが発生し、苦情処理件数が令和4年度は18件となっています。
- 在来種の減少や環境変化が進行し、シカやイノシシの増加等による影響が報告されています。
- ごみ減量・資源化について、市民の行動変容は進んでいますが、不適切な事例が一定数発生しています。
- 生ごみの減量が進んでおらず、多くの生ごみが可燃ごみとして処分される状況が続いています。
- 事業系ごみの種類は特に食品廃棄物が多く、処理コストが増加しています。
- ごみの出し方のルールが市民に徹底されておらず、ごみ集積所に関する問い合わせ件数は令和5年度に85件となっており、自治会によるごみの集積所管理が課題となっています。

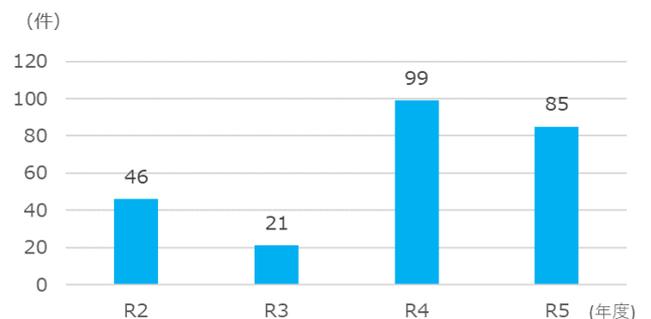
主なデータ

二酸化炭素排出量の推移



資料:環境省「部門別 CO<sub>2</sub>排出量の現況推計」

ごみ集積所に関する問い合わせ件数の推移



資料:美濃加茂市

## 個別計画

---

- みのかも環境まちづくりプラン(美濃加茂市環境基本計画)
- 美濃加茂市環境保全率先行動計画(地球温暖化対策実行計画)
- 美濃加茂市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)
- 美濃加茂市一般廃棄物処理基本計画
- 生物多様性加茂プラン
- 美濃加茂市分別収集促進計画

## 政策11 防災減災

まちづくり宣言～政策のめざす姿～

もしものとき、生き残るために！

～自助、互助、共助を意識することでさまざまな環境に適応し、生き延びる力を身に付けることをめざします～

### 施策11-1 防災・減災

#### めざす姿

- 自助、互助、共助を重視した総合的な防災体制が確立されています。
- 市民一人ひとりが災害に対する備えを充実させ、平時・非常時を問わず適切に情報収集し、行動できる環境が整備されています。
- 災害時の行政機能を確保し、インフラ整備を含めた防災機能が強化されています。

#### 注力する取組

- 各地域において、地域の防災力を高めるため、出前講座等による防災啓発活動を継続し、並行して無関心層の取り込みを実施します。
- 災害時に自ら行動し、「自分の命は自分で守る」、「地域の安全は地域で守る」を実践するため、実用性の高い防災ツールの導入による、市民の防災意識・知識の向上、自助力の強化を図る仕組みをつくります。

#### □KPI(重要業績評価指標)

指標	現状(令和5年度)	目標(令和11年度)
自主防災組織率	84%	100%
防災訓練、出前授業・講座、地域イベントの参加者数	9,241人	12,000人
災害のための備えができていない人の割合	38.4%	75%

### 施策11-2 消防・防犯・交通安全

#### めざす姿

- 消防団では、団員の負担軽減と訓練の効率化を実施することで、魅力的な組織として団員が確保されています。
- 市民、企業、警察、市役所が協力して防犯・交通安全意識を向上させることで、地域ぐるみで見守り合う体制を構築し、犯罪や交通事故のない安全で安心して暮らせるまちが実現されています。

#### 注力する取組

- 地域の安全・安心に欠くことのできない消防団活動について、市民から広く認識・評価され、消防団員の確保につなげるため、さまざまな媒体を活用したPR活動を促進します。
- 犯罪のない安全で安心なまちづくりを推進するため、市民、企業、警察、市役所が協力した防犯活動を推進します。
- 市民が自ら交通安全に対する意識を高められるように、市民、企業、警察、市役所が協力した交通安全意識向上のための活動を実施します。

## □KPI(重要業績評価指標)

指標	現状(令和5年度)	目標(令和11年度)
消防団員数	286人	293人
犯罪率(人口1,000人あたりの刑法犯認知件数)	5.4%	4.8%
交通事故(人身事故)発生件数	68件	60件

## 解決を図る現在の状況

○防災アプリのダウンロード数や防災ラジオの配付数は年々増加しているものの、災害のための備えができていない人の割合は過去5年間で40%程度に留まっており、十分な水準に達していません。

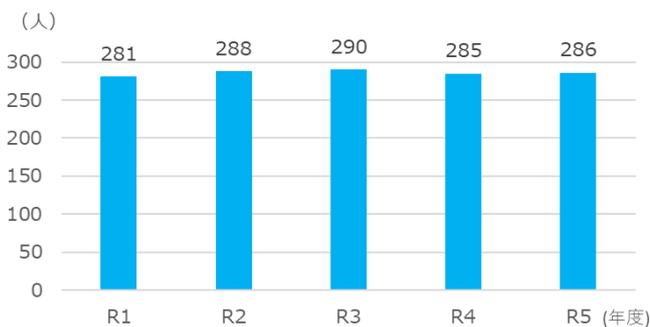
○消防団員数は定数293人を下回っており、団員の確保が年々難しくなっています。

○窃盗犯が犯罪発生件数全体の6割を超えており、重点的な対策が求められています。

○令和5年の交通事故(人身事故)発生件数は68件と、令和元年から22件減少しているものの、一定数発生している状況が続いています。

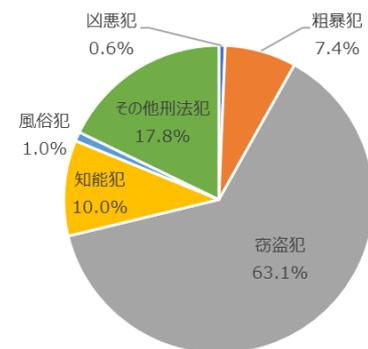
## 主なデータ

消防団員数の推移



資料:美濃加茂市

罪種別犯罪発生件数(令和5年)



資料:岐阜県警察本部「犯罪統計」

## 個別計画

- 美濃加茂市地域防災計画
- 美濃加茂市国民保護計画
- みのかも防犯まちづくり推進計画
- 美濃加茂市交通安全推進計画

## 政策12 都市基盤

まちづくり宣言～政策のめざす姿～

未来を見据えた暮らしやすい街をつくる！

～恵まれた立地の特性を生かし、便利で快適、そして災害に強いまちをめざします～

### 施策12-1 都市計画・都市整備

#### めざす姿

○空家等\*が適正に管理されていることで、良好な生活環境を維持するとともに、暮らしやまちの魅力が向上しています。

○美濃太田駅周辺を中心とする中心市街地(まちなか)ににぎわいと活力があふれています。

○コンパクトな都市構造と利便性の高い交通ネットワークが形成されています。

\*空家等:建築物又はこれに附属する工作物であって居住その他の使用がなされていないことが常態であるものおよびその敷地(立木その他の土地に定着する物を含む。)をいいます。ただし、国または地方公共団体が所有し、または管理するものを除きます。

#### 注力する取組

○適正に管理されない空家等が、火災・倒壊の危険等の防災面、雑草やごみ・悪臭等の衛生環境面、また景観を損ねる等、周囲の生活環境に深刻な影響を及ぼすことを防ぐため、空き家を発生させないための啓発活動、補助制度の見直し等による老朽空家等の除却推進を実施します。

○ターミナル駅である美濃太田駅を起点に、にぎわいのあるまちなかや歴史的なまちなみを身近に感じながら暮らしやすいまちづくりを進めるため、美濃太田駅南地区(再開発・都市施設)の整備促進、経済活力の創出を実施します。

○都市活力や地域の雇用の場を創出する場の整備のため、新産業集積地(企業誘致する場所)の整備を促進します。

#### □KPI(重要業績評価指標)

指標	現状(令和5年度)	目標(令和11年度)
支援制度を活用した老朽空家等の除却件数(累計)	6件(R1～R5)	12件(R7～R11)
美濃太田駅南地区市街地再開発事業進捗率	0%	75% (解体工事完了、建築工事着手)
新産業集積地(美濃加茂 IC 南地区)および関連施設の整備率	0%	75% (粗造成工事完了)

### 施策12-2 道路・公園・河川

#### めざす姿

○道路、公園、河川といった公共空間が、持続可能で効率的な手法によって管理されることで、資源が最大限に活用されています。

○木曽川の周辺地域を中心とした、にぎわいが創出されています。

○心地よく歩きたくなるような魅力的なまちなか空間が整備されています。

○人口減少、高齢化、財政制約、災害リスクの低減等の課題に対応しています。

## 注力する取組

- 市民が日常的に使用する道路の利便性向上のため、道路破損状況情報を集約し、整備に活用します。
- 景観・歴史・文化等の河川が有する地域の魅力ある「資源」を生かしたネットワークを形成し、エリアのにぎわいを創出するため、美濃太田駅の拠点強化およびかわまちづくり事業を推進します。
- 市民の暮らしにうるおいとやすらぎをもたらすため、まちなかに歩いて楽しめる空間やポケット空間を整備する、前平公園および大手町公園のリニューアルを実施します。
- 地震発生時の安全確保のため、跨線橋の耐震化を進めます。

### □KPI(重要業績評価指標)

指標	現状(令和5年度)	目標(令和11年度)
自治会随時要望に対する対応箇所数/要望数	65%	75%
リバーポートパーク美濃加茂の利用人数	179,028人	181,000人
前平公園の利用人数	57,442人	69,000人
跨線橋の耐震化率	25%	100%

## 施策12-3 上下水道

### めざす姿

- 市民の生活の質向上につながる上下水道の安定経営が実現しています。
- 上下水道施設を計画的に更新することで、災害リスクの低減を進めています。

### 注力する取組

- 経費節減や有収率向上等を図り、財政の健全化と企業経営の効率性を高め、安心して飲める安全な水を安定的に供給するため、重要管路および更新時期を迎えた老朽管路の耐震化を推進します。
- 水道施設から給水した水量がどの程度収益に結びついているかを表す有収率を増加させるため、計画的な漏水調査の実施により、漏水箇所の早期発見と修繕を実施します。
- 汚水処理原価に対する使用料単価の割合である経費回収率を増加させるため、汚水管きょへの地下水・不明水の浸入か所調査および対策を計画的に実施するとともに、汚水処理原価の削減に向けた取組を進めます。

### □KPI(重要業績評価指標)

指標	現状(令和5年度)	目標(令和11年度)
耐震管路延長(累計)	87.5km(14.9%)	102.5km(18%)
有収率(水道)	90.09%	92%
経費回収率(下水道)	85.72%	88%

## 解決を図る現在の状況

- 住宅・土地統計調査による空き家(戸建て)は平成25年には1,220棟だったものが令和5年には1,490棟と増加しており、生活サービスや地域コミュニティの維持と確保が年々困難になっています。
- 令和5年度の居住誘導区域内の人口密度は31.0人/ha と過去5年間で変動していませんが、人口減少に伴い将来的には減少することが想定されます。
- 市街地が拡散し、自動車を利用できない場合に移動が難しい状況が増加しています。

○道路、公園、河川の分野では、施設の老朽化が進んでいます。

○施設に関する苦情対応や管理の改善、令和5年度末の地籍調査事業の進捗率は25%となっており、地籍調査の進捗促進が求められています。

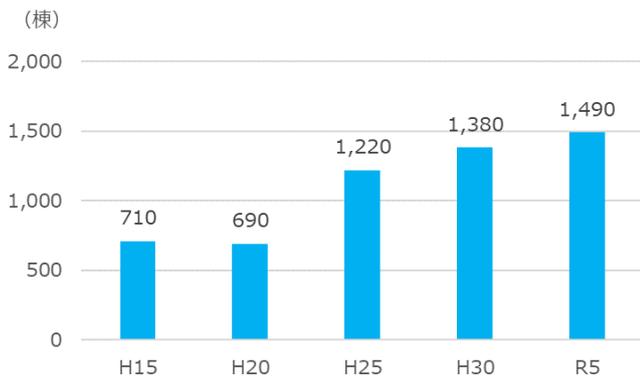
○娯楽や生活環境の変化により、川と関わる機会が少なくなっています。

○1時間20mm以上の雨量を観測した回数(太田地区)が令和元年度の3回に対し令和5年度は8回となっており、こうした自然災害が増加傾向にあるなか、予防策の迅速な実施と早期復旧体制の維持が難しくなっています。

○上下水道分野において、施設の老朽化に加え、人口減少に伴う需要低下と経営環境の悪化が懸念されます。

## 主なデータ

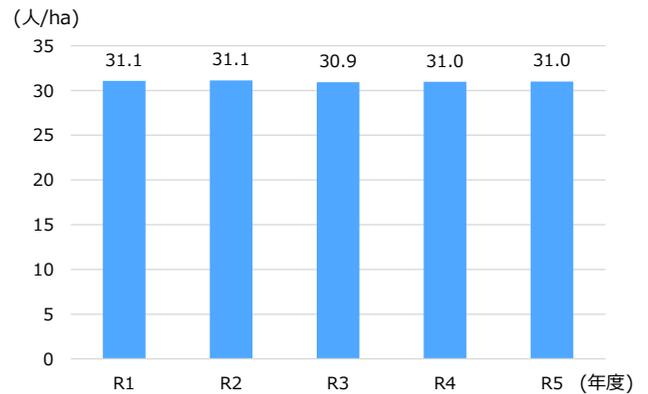
空き家(戸建て)の推移※



※二次的住宅(別荘等)、賃貸用住宅、売却用住宅を含まない。

資料:総務省「住宅・土地統計調査」

居住誘導区域内の人口密度の推移



資料:美濃加茂市

## 個別計画

---

- 美濃加茂市都市計画マスタープラン
- 美濃加茂市立地適正化計画
- 美濃太田駅周辺整備将来基本構想
- 美濃太田駅南地区再開発基本計画
- 美濃太田駅南地区再開発推進計画
- 美濃加茂市地域強靱化計画
- 美濃加茂市耐震改修促進計画
- 加茂川総合内水対策計画
- 美濃加茂市景観計画
- 美濃加茂市空家等対策計画
- 美濃加茂市地籍調査基本計画
- 美濃加茂市かわまちづくり基本計画
- 舗装修繕計画
- 都市公園・橋梁・道路長寿命化計画
- 美濃加茂市新水道ビジョン
- 美濃加茂市水道事業経営戦略
- 美濃加茂市下水道事業経営戦略
- 下水道施設ストックマネジメント計画
- 美濃加茂市污水处理施設整備構想(案)
- 美濃加茂市耐水化計画
- 美濃加茂市水道事業基本計画

## 行財政運営の方針

社会環境の変化に対応する持続可能な行財政運営により、孫子の代まで住み続けられるまちの礎をつくります。

### 1 行財政

#### 運営方針

- 社会環境の変化に対応し、効果的かつ効率的に資源を活用する行政運営を進めるとともに、財政状況を分かりやすく公開して市民の理解を深め、メリハリのある予算編成と補助金の効果検証を行い、健全な財政運営を継続します。
- 専門性の高い監査体制整備や行財政運営の透明性確保を維持しつつ、「政策執行の指針」に基づき適正に事務を執行し、内部統制制度を運用してリスクのコントロールを進めます。
- 主権者教育を進め、選挙啓発を通じて投票率の向上を図ります。

#### □KPI(重要業績評価指標)

指標	現状(令和5年度)	目標(令和11年度)
将来負担比率	—(比率なし)	—(比率なし)
内部統制制度における公表対象リスク発生件数	16件	0件
18歳になったら選挙権を行使しようと考えている児童生徒の割合	—	100%

### 2 人財育成

#### 運営方針

- 「市民サービスを向上させる職員」、「チームとして業務を遂行する職員」、「変化に対応し、改革を実行する職員」、「いつまでも成長し続ける職員」をめざす職員像とし、必要な人財を計画的に採用します。
- 必要な能力や知識の習得等、効果的な研修を提供することで、職員の育成、能力向上を図ります。
- 職員が幸せで充実した毎日を送るために、職員一人ひとりの生活にあわせた、柔軟な働き方ができる環境を整備します。
- 「人財確保」、「人財育成」、「職場環境整備」を連動させることで、業務が政策効果につながっていることが実感できる体制を構築します。

#### □KPI(重要業績評価指標)

指標	現状(令和5年度)	目標(令和11年度)
自分の仕事に誇りをもっている職員の割合(熱意の指標)※	2.75点	4点

※6点満点

### 3 施設経営

#### 運営方針

- 公共施設等総合管理計画に基づき、長期的視点に立って「公共施設等の最適化(公共施設等の総数・総量、公共サービスの量・質等を最適な状態にすること)」を推進し、あるべきすべての公共施設が市民に愛され、活用されているまちをめざします。
- 市民との対話を重視しながら、防災機能を備えた新庁舎の建設を計画的に進めます。

## □KPI(重要業績評価指標)

指標	現状(令和5年度)	目標(令和11年度)
公共施設に対する市民の愛着度(とても愛着がある、少し愛着がある)	43.1%	45%
新庁舎整備に関する認知度	73.9%	84%

## 4 広報・広聴

---

### 運営方針

- ターゲットを的確に把握し、市民等が「知りたい情報」と市が「伝えたい情報」を効果的かつ戦略的に発信します。
- 多様な媒体を活用した双方向のコミュニケーションを通じて、市民と市役所の距離を縮め、協働の基盤を強化する広聴活動を推進します。

## □KPI(重要業績評価指標)

指標	現状(令和5年度)	目標(令和11年度)
行政情報を web 媒体(HP、SNS)で入手している人の割合の合計	26.3%	40%

## 5 広域行政

---

### 運営方針

- 国の定住自立圏構想推進要綱に基づくみのかも定住自立圏を形成し、美濃加茂市と加茂郡の各町村が互いの強みを生かし、弱みを補完することで、圏域の住民にとっては「住み続けたいまち」であり、圏域外の方にとっては「住んでみたいまち」となり、将来世代が希望をもち続けることができる圏域づくりを進め、交流人口や関係人口の増加による地域の活性化をめざします。

## □KPI(重要業績評価指標)

指標	現状(令和5年度)	目標(令和11年度)
みのかも定住自立圏共生ビジョン掲載事業のKPI達成率	65%	100%

## 6 自治体 DX

---

### 運営方針

- 行政事務の効率化と職員の多様な働き方の実現を図るため、デジタル技術を活用した業務改善を推進します。
- 公正性と透明性を確保しつつ、デジタル技術を活用した時間的・空間的制約を超えた効率的な行政サービスを提供し、市民の利便性の向上を図ります。
- 「誰ひとり取り残さない、人に・まちにやさしいDX」を実現するために、市民一人ひとりがデジタル技術に適應できるような教育・支援体制を構築します。

□KPI(重要業績評価指標)

指標	現状(令和5年度)	目標(令和11年度)
DX 推進計画実施の進捗率	11%	100%
市公式 LINE アカウント登録者数(累計)	10,267人	24,000人

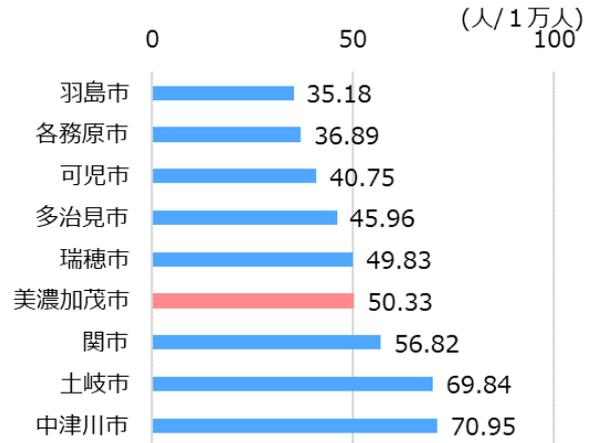
主なデータ

財政状況の推移

	H30年度 (2018)	R1年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)
財政力指数	0.81	0.82	0.82	0.81	0.78
実質収支比率 (%)	11.6	14.4	10.4	16.4	16.4
経常収支比率 (%)	86.8	89.4	90.5	83.2	88.8
実質公債費比率 (%)	5.7	5.6	5.2	5.0	4.4

資料:岐阜県「市町村財政の状況」

人口1万人あたり\*の職員数(一般行政)(令和5年)



\*当該年人口は総務省「住民基本台帳に基づく人口」の人口

資料:総務省「類似団体別職員数の状況」

個別計画

- 美濃加茂市まち・ひと・しごと創生総合戦略
- 美濃加茂市定員適正化計画
- 美濃加茂市特定事業主行動計画
- 美濃加茂市人財育成基本方針
- 美濃加茂市公共施設等総合管理計画
- 美濃加茂市新庁舎整備ロードマップ
- 美濃加茂市広報戦略
- みのかも定住自立圏共生ビジョン
- 美濃加茂市 DX 推進計画
- 美濃加茂市ICT部門業務継続計画(BCP)